

出國報告（出國類別：其它）

交通部臺灣鐵路管理局「CK124SL 列車」·
日本 JR 北海道 C11SL 列車「冬季濕原號」
締結姊妹列車暨同意書交換典禮

服務機關：交通部臺灣鐵路管理局

姓名職稱：鹿潔身 副局長

林竣曜 副處長

黃振照 協理

楊德安 段長

林維澤 專員

派赴國家：日本

出國日期：101 年 3 月 10 日至 101 年 3 月 13 日

報告日期：101 年 4 月 30 日

目 錄

壹、 前言	2
貳、 行程說明	3
參、 「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」 暨同意書交換典禮	
一、 臺鐵局CK124 SL列車與日本北海道旅客鐵道株式會社C11SL列車 「冬季濕原號」姊妹列車締結源起	5
二、 臺鐵局CK124 SL列車與日本北海道旅客鐵道株式會社C11SL列車 「冬季濕原號」姊妹列車辦理過程	9
三、 「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」暨 同意書交換典禮	31
四、 搭乘「『冬季濕原號』締結紀念專開列車」	51
肆、 心得與建議	64
伍、 附件	74

壹、前言

本局近年來積極從事鐵路文化資產保存工作，蒸汽機車（Steam Locomotive）修復並恢復動態行駛，則是鐵路文化資產保存重點工作項目之一。86年10月27日本局蒸汽機車復駛計畫案（CK101號）於臺北機廠舉行開工典禮，由陳前局長德沛親自主持；該修復工程邀集本局退休老師傅歷經近一年的整建工作，於翌年6月9日慶祝鐵路111週年鐵路節，完成CK101蒸汽機車復駛任務，同時開行懷舊列車由臺北站行駛至基隆站，並於9月21日完成環島懷舊之旅，進駐彰化扇形車庫。

受到CK101蒸汽機車復駛成功的鼓舞，本局於89年9月14日將CK124蒸汽機車運回臺北機場進行動態行駛整修。在眾多工作人員的努力下，於90年4月30日CK124蒸汽機車通過竣工檢查，隨即於鐵路114週年鐵路節慶祝時，由CK124蒸汽機車與現代空調車廂組合，行駛於松山-基隆間，成為第2輛重返臺灣鐵道上奔馳的蒸汽機車。

目前CK101蒸汽機車和CK124蒸汽機車均同時進駐存放彰化扇形車庫，供民眾作近距離靜態欣賞外，並常配合地方政府舉辦活動時作動態行駛，佳評如潮。

日本鐵道在蒸汽機車的保存與復駛成就上是有目共睹，一直以來也吸引各地鐵道迷前往朝聖。而日本北海道旅客鐵道株式會社（以下簡稱JR北海道）即有2輛C11型蒸氣機車作動態保存行駛，分別為編號C11 171及C11 207。C11 171於1975年退休後，直到1998年（平成10年）才開始進行修復工程，於1999年（平成11年）5月1日重新復活，並於2000年起以「SL冬の湿原号」之名開始行駛，現在為JR北海道蒸汽機車牽引列車主力機車，例如SL冬の湿原号(1~3月)、SL函館大沼号(黃金周、暑假)。

C11 207則是於1974年退休後，直到1999年（平成11年）才開始進行修復工程，於2000年（平成12年）北海道鐵道120週年紀念日才以「SLニセコ号」(Niseko)之名開始行駛。另於特定節日與C11 171SL冬の湿原号(重連運轉)，偶爾也會代替C11 171在其它路線運行。

臺灣鐵路的發展與日本鐵道有著很深的歷史淵源，日本民眾亦常來臺灣尋找過去的鐵道歷史文化，回憶鐵道鄉愁。尤其日本於去(100)年3月11日發生地震海嘯世紀災難，臺灣人民慷慨解囊踴躍捐輸，除更拉進兩國之間人民的情感，也成就了這次臺、日鐵路外交的美事。

古典的蒸汽機車行駛於歷史鐵道上的英姿，透過與國外鐵道締結而推向國際舞台，相信對臺鐵致力於保護文化資產之努力，必能創造國際佳譽，並大幅提升本局企業形象。

本次臺、日姐妹機車成功締結良緣，特別感謝臺灣鐵道暨國土規劃學會江會長金山先生、任教授恆毅先生、蘇教授昭旭先生及學會會員、前立法委員趙永清先生、鐵道迷葉日崇先生、日籍友人伊藤一己先生及峰雪剛先生等熱心協助下，共同成就臺灣鐵路的創舉。

而本局刻正研議規劃「蒸汽郵輪式列車」常態開行之計畫，以期與JR北海道共同行銷鐵道觀光旅遊，並增進臺日兩國有好關係，拓展雙方事業及促進地方觀光產業之興盛。

貳、行程說明

星期	月 / 日	起迄地點	行程及工作項目	
六	3月10日	桃園 / 札幌	去程	1.長榮 BR0116 航班(9:30~14:05) 桃園機場→新千歲機場 2.新千歲機場→札幌:搭乘 JR 北海道快速 Airport 153 號 エアポート153号 (15:19~15:55)
日	3月11日	札幌 / 釧路	JR 北海道旅客鐵道株式會社 釧路支社	1.札幌→釧路:搭乘 JR 北海道特急スーパーおおぞら5号(超級大空號) (11:51~15:44) 2.姊妹列車締結同意書交換典禮準備工作
一	3月12日	釧路 / 東京	JR 北海道旅客鐵道株式會社 釧路支社	1. 10:20 於 JR 北海道釧路站第3號月台集合參加締結姊妹列車同意書交換典禮。 2.11:00 典禮結束,搭乘「冬の湿原号」締結紀念專開列車。 11:09~12:25→13:52~15:10 3.釧路→東京全日空 NH 0744 航班 (17:10~19:00)
二	3月13日	東京 / 松山	回程	1. JR 濱松町站→羽田機場。 2.東京→松山:長榮 BR0191 航班 (12:15~15:00)



圖 行程路線示意圖



上圖為 JR 北海道北海道特急スーパーおおぞら5号(超級大空號)列車。



右圖為 JR 北海道「冬季濕原號」列車。

北海道鐵路 路線圖

特急スーパー宗谷、サロベツ號
 札幌 ↔ 網走 一天往返3班次

特急スーパーカムイ號
 札幌 ↔ 旭川 一天往返24班次

特急ニセコスキーエクスプレス
Niseko 滑雪特急 (Niseko Ski Express)
 2011年12月23日 ~ 2012年2月19日的每天
 札幌 ↔ Niseko 一天往返1班次
 札幌 ↔ Niseko 一天往返1班次

特急トマムサホロスキーエクスプレス
Tomamu, Sahoro 滑雪特急 (Tomamu, Sahoro Ski Express)
 2011年12月16日 ~ 2012年3月20日的每天
 札幌 ↔ 網走 一天往返1班次

特急スーパー北斗、特急北斗
特急 Super 北斗號、北斗號
 札幌 ↔ 函館 一天往返11班次

長距離車站	所需時間	班次/天	乘車路線和列車名
旭川	約1小時20分鐘	一天31班次	特急 <Super-Kamui號> <特急次克號> <Super宗谷號> <Sarobetsu號>
富良野	約2小時	一天16班次	特急 <Super-Kamui號> 等 在旭川站或旭川站轉乘一般普通列車
稚內	約5小時	一天3班次	特急 <Super宗谷號> <Sarobetsu號>
網走	約5小時15分鐘	一天4班次	特急 <鄂霍次克號>
知床斜里	約5小時	一天3班次	特急 <鄂霍次克號> 在網走站轉乘一般普通列車
帶廣	約2小時10分鐘	一天12班次	特急 <Super大空號> <Super十勝號>
釧路	約3小時45分鐘	一天7班次	特急 <Super大空號>
小樽	約32分鐘	一天80班次	快速Airport號-普通列車
NISEKO	約2小時	一天5班次	快速Airport號-在小樽站轉乘一般普通列車 新千原站 / Niseko滑雪特急(Niseko Ski Express)
新千歲機場	約36分鐘	一天64班次	快速Airport號-普通列車
登別	約1小時	一天15班次	特急 <Super北斗號> <北斗號> <Suurari號>
洞爺	約1小時40分鐘	一天10班次	特急 <Super北斗號> <北斗號>
函館	約3小時	一天11班次	特急 <Super北斗號> <北斗號>

特急鄂霍次克號
 札幌 ↔ 網走 一天往返4班次

流氷特急鄂霍次克之風號
 2012年1月21日 ~ 3月11日的每天
 札幌 ↔ 網走

下行	7:55	9:34	10:22	13:21
上行	14:17	17:10	18:03	19:37

流氷特急鄂霍次克之風號
 可以盡情眺望雪白的大地，列車上方開設的天窗，讓車內變的十分明亮，您可以將體感給您的車票證明書當作明信片，寫好後貼上郵票投遞到特製的郵筒寄出。

流氷ノロコ号
流氷慢車號 (Ryuhyo Norokko Train)
 2012年1月21日 ~ 3月11日的每天
 知床斜里 ↔ 網走

知床斜里	北濱	網走	
2號	8:55	9:31抵達 / 9:45出發	10:00
4號	11:57	12:31抵達 / 12:38出發	13:03
網走	北濱	知床斜里	
1號	10:25	10:47抵達 / 10:48出發	11:22
3號	13:57	14:11抵達 / 14:18出發	14:45

SL冬の湿原号
SL冬季濕原號
 2012年1月21日 ~ 3月11日的每天和3月17日 ~ 20日

釧路	標茶	川湯温泉	
1/23 - 3/18 (1/21, 1/22, 2/18, 3/20)	11:09 (11:50)	12:24 (12:55)	13:41 (14:01)
川湯温泉	標茶	釧路	
1/23 - 3/18 (1/21, 1/22, 2/18, 3/20)	(14:45)	13:52 (15:00)	15:10 (17:31)

圖 行程路線及搭乘列車示意圖

參、「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」 暨同意書交換典禮

一、 臺鐵局 CK124 SL 列車與日本北海道旅客鐵道株式會社 C11SL 列車

「冬季濕原號」姊妹列車締結源起

1. 100 年 3 月 11 日日本東北地區發生世紀強震，全臺灣民眾感同身受紛紛自動捐款，立法院王院長於 4 月 20 日率「東日本震災台灣慰問訪日團」赴日向受災民眾表達臺灣民眾慰問及追悼之意，並遞交臺灣各界所捐輸賑災款。同年 5 月間，王院長再率「臺灣北海道觀光振興訪問團」300 人赴北海道，為北海道的觀光相關產業加油打氣。



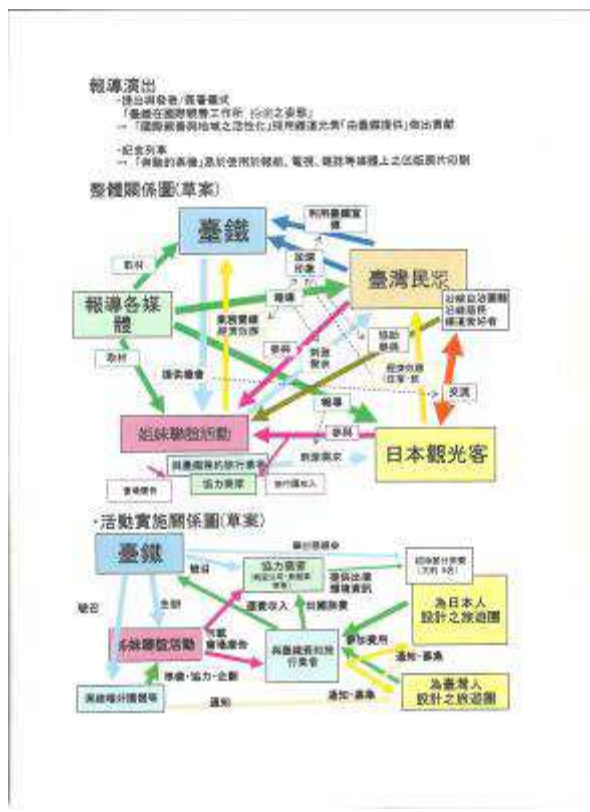
圖 立法院院長王金平率領 14 名立委及工商團體人士訪問日本北海道，所到處受到熱烈歡迎。
摘錄自 中華民國(台灣)僑務委員會 Overseas Compatriot Affairs Commission, R.O.C.(Taiwan)
宏觀即時新聞網

2. 北海道各界為感謝我國的情義相挺，並加強與臺灣關係及祝賀中華民國建國百年，於同年 9 月贈送臺北市立動物園丹頂鶴一對，同時，日本北海道「釧路動物園」與臺北市立動物園正式簽訂締結友好協定。



圖 JR 北海道釧路支社矢崎支社長參加贈送臺北市立動物園丹頂鶴開展典禮
摘錄自 JR 北海道釧路支社支社長写真と旅のつれづれ手帖網站 <http://www.jrkushiro.jp/blog.html>

3. JR 北海道釧路支社矢崎支社長亦隨同北海道釧路市訪問團來臺，參與贈送臺北市立動物園丹頂鶴開展典禮，並向臺灣鐵道愛好人士提出臺日蒸汽機車締結姊妹列車之構想。
4. 100 年 11 月「台灣鐵道暨國土規劃學會」會長江金山先生致本局局長電子郵件信函，略以：貴局近年修復多台蒸汽機車，每當消息公布，總是吸引民眾目光。貴局重視文化資產保存，更是獲得不僅國內，甚至是國際上的肯定。本會數日



姊妹蒸氣機車實現時間流程

製表: 2011年11月



圖 「台灣鐵道暨國土規劃學會」會長江金山先生致局長電子郵件信函暨轉達日方所提企劃案(草案)

5. 本局隨即就該企劃案(草案)研簽可行性，經審視本局 CK124 蒸汽機車雖與 C12 型（水櫃式蒸汽機車）為同型式，但因 CK124 另設有除煙板，與 C11 型（水櫃

式蒸汽機車)外型較為相近。由於「SL 冬季濕原號」為定期運行之列車，而本局 CK124 蒸汽機車尚無固定運行模式(目前除節慶外，為暑假 7~8 月假日開行於舊山線)，透過締結為姐妹機車，或可作為未來開行模式之參考；另透過雙方人員之交流互訪，除可就蒸汽機車維修技術、駕駛經驗及檢修備料等技術交流經驗分享外，亦可就營運規劃、鐵道觀光及餐旅服務等相互觀摩學習，以增益雙方鐵道業務之發展。同時跨國之締結，亦可大幅提升本局之國際知名度，吸引國際觀光客來臺旅遊，其多元且正面，效益可期。



圖 臺灣鐵路管理局 CK124 SL 列車(彰化機務段 邱家增製)



圖 日本北海道旅客鐵道株式會社 C11 171 SL 冬季濕原號(2011 年明信片封面)

二、臺鐵局 CK124 SL 列車與日本北海道旅客鐵道株式會社 C11 SL 列車「冬季濕原號」姊妹列車辦理過程

1. 本局於 100 年 12 月 21 日召開研議「本局 CK124 蒸汽機車與日本 JR 北海道 C11 蒸汽機車締結姊妹車」案推動事宜會議。會中邀請「台灣鐵道暨國土規劃學會」簡報並說明所提企劃案內容。會議結論略以：本案本局表示高度意願並給予正面肯定，尤其透過結盟方式，有助於帶動雙方未來在鐵道專業技術交流及鐵道觀光旅遊事業的發展。第 1 階段先以兩部蒸汽機車為主體，相互締結為「姐妹機車」，並定位以行銷為導向的結盟活動，相互推展蒸汽火車鐵道觀光旅遊業務。為推動本案如期執行，成立專案小組召開專案小組會議檢討工作進度。
2. 100 年 12 月 27 日中國時報率先於 A1 版面刊登『姊妹車 台日結緣』新聞報導。



3. 本局由鹿副局長召集成立『臺、日鐵路締結姐妹蒸汽機車』專案小組並擬訂「工作計劃表」，並隨即於 101 年 1 月 11 日召開第 1 次工作會議，由各單位報告執行情形。會議結論略以：依台灣鐵道暨國土規劃學會轉達日本 JR 北海道旅客鐵路公司釧路支社意向，該支社對本案表示高度意願並樂觀其成。故本案仍依原企劃案所規劃時程，於 2 月 27 日〔濕原號重連運轉時〕在釧路站舉行締盟儀式暨相關活動。
4. JR 北海道旅客鐵道株式會社指派釧路支社次長（營業）佐々木 大輔先生擔任本案聯絡窗口；本局由餐旅服務總所協理黃振照及秘書室專員林維澤擔任。
5. 原訂 2 月 27 日濕原號重連運轉時在釧路站舉行締盟儀式，因適逢臺灣地區連假，前往北海道搭乘冬季濕原號遊客人數驟增，該公司表示締盟儀式希望能順延至 3 月 12 日。
6. 因局長將於 101 年 2 月 2 日起率團赴日本考察鐵路業務，並同時與 JR 北海道旅客鐵路公司洽談締結事宜，又日方提出締結日期異動之要求，乃於 101 年 1 月 30 日召開專案小組臨時工作會議，會中並邀請日籍友人伊藤一己先生及葉日崇先生與會討論。會議結論略以：本案原訂締結日期為 101 年 2 月 27 日，惟今因日方提出變更日期之優缺點分析與建議，本局原則上同意日方所提，締結日期改訂為 101 年 3 月 12 日。

記念列車の日程について

	2月27日	3月12日
	上午12時00分00秒	上午12時00分00秒
特別ヘッドマークの掲示	不可	可能
車体に姉妹列車を表す表記	不可	可能
駅に姉妹列車を表す掲示	小規模なら可能	可能
列車編成	機関車2台+客車	機関車1台+客車
駅と車内	非常に混雑	混雑は無し
列車名	「冬の湿原号」固定	自由に設定可
運転区間	釧路⇄標茶	釧路⇄標茶

2月27日の問題点

- ・日本国内や他の外国の一般のツアーの予約がたくさん入っており
通常の「冬の湿原号」としてしか運転できない
→記念列車としての運転ができない
→機関車や車両に特別な装飾ができない
→2011年の早い時期から「冬の湿原号」としての運行を旅行会社に告知しており、
名称やテーマの変更が不可能。
- ・重連運転は大変人気があり、多くの人を訪れるため駅や車内が混雑する
→台湾鐵路とのイベントの案内人員が不足する
→人が多く、記念写真の撮影も困難
→台湾鐵路の皆様も混雑により不便をかける可能性がある

3月12日に行うメリット

- ・特別ヘッドマークや装飾を行うことができる
- ・台湾鐵路を主役としたイベントができる
- ・釧路と沿線の関係者が招待できて友好が深まる
- ・報道の取材が容易になり、報道の扱いが大きくなる
- ・準備期間が確保できて、より効果的に事前の宣伝活動が行える

3月12日の列車は、「冬の湿原号」に協力いただいた方を中心にVIPを招待して運行する「招待列車」です。

この列車の名称やテーマはJR釧路支社のみですべてを決定することができます。

この列車の今年のVIPとして台湾鐵路局の皆様に乗車していただくとともに、記念列車として特別ヘッドマークを掲示など装飾をして運転することが可能です。

翌日の3月13日にも同様の列車を走らせる予定です。3月13日の列車は日本・台湾の報道機関や3月12日に乗車した招待客や鉄道愛好家が、走行する外観の写真を撮ることが出来るための「宣伝列車」としての機能も兼ねて運行が可能です。

圖 JR北海道建議締結日期由原訂101年2月27日變更為101年3月12日之問題點分析

7. 依前開會議結論，本案自始以來即定位於「締結姊妹機車」，且以推展行銷鐵道觀光旅遊為導向之結盟活動，暫不考慮鐵道事業之締結。故本次姊妹機車締盟協議書主題名稱建議為：CK124(SL 列車)與 C11 171(SL 列車)締結姊妹機車(列車)。協議書內容儘可能以單純及簡單化為原則。
8. 101 年 1 月 31 日釧路臨港鐵道之會亞州・大洋州總局儀典實行委員會常任委員峰雪 剛先生轉 JR 北海道釧路支社意見來函：考量 C11 171 蒸汽機車維修及與 C11207 蒸汽機車交互運用，及 C11 171 與 C11207 於特定日子重聯運轉牽引「冬の湿原号」，因此，希望本次姊妹機車締盟協議書主題名稱擴大為：C11SL 列車「冬の湿原号」締結姊妹機車(列車)；並提送預擬之「JR 北海道旅客鐵道株式會社小池 明夫社長定例記者會新聞稿」。

ご提案

内容拡大のご提案

C11171SL列車「冬の湿原号」 → C11SL列車「冬の湿原号」

・JR北海道ではC11171とC11207の2台の蒸気機関車を保有しています

台湾の皆様を歓迎して

3/12の記念列車はC11171とC11207の重連にします。

・SL冬の湿原号はC11171とC11207の交互運用です。

冬の湿原号はピーク時は毎日運転ですが、機関車整備や点検の必要があり、2台の機関車を運用しています。C11171で運転する日とC11207で運転する日とC11171+C11207重連の日があります。「姉妹列車」を期待して台湾から来たお客様がC11207の運用日に当たると姉妹列車ではなくなってしまいます。→台鉄が企画したツアーの場合は旅客から苦情が出る恐れがあります。

C11171だとC11207には姉妹列車のプレートを取り付けることが出来ません。C11SL列車「冬の湿原号」であれば、C11207にもプレートを取り付けることが出来ます

・姉妹列車の幅が広げる可能性を持たせます

「SLとかち号」のように冬の湿原号以外のC11207専用列車に将来姉妹列車の可能性を見出すことが出来ます。

圖 JR 北海道提出本次姊妹機車締盟主題範圍擴大：C11SL 列車「冬の湿原号」

提案

提案擴大内容

C11 171SL 列車「冬之濕原號」 → C11 SL 列車「冬之濕原號」

- ・JR 北海道擁有 C11 171 及 C11 207 兩部蒸汽機車。

為了歡迎臺灣的貴賓，在 3 月 12 日將開行 C11 171 及 C11 207 重聯的紀念列車。

- ・SL 冬之濕原號由 C11 171 及 C11 207 兩部蒸汽機車交互運用。

冬之濕原號在尖峰時期雖每日開行，但因機車整備及檢修需要，必需使用 2 部蒸汽機車。當日重聯之日即為開行 C11 171 及 C11 207 之時。

因此，期待「姊妹列車」而來的臺灣訪客，當用 C11 207 牽引冬之濕原號時，就變成不是姊妹列車。

→這會造成由臺灣企劃的旅遊時，可能肇生旅客抱怨。而且，如果只用 C11 171 結盟，

但用 C11 207 牽引時，就不能掛上姊妹列車的頭牌。

- ・擴展姊妹列車更大的可能性。也可發展成如「SL TOKACHI」般冬季濕原號以外的 C11 207 專用列車做為將來的姊妹列車之可能性。

平成24年2月8日（預擬）

JR北海道C11SL列車「冬の湿原号」と台湾鐵路管理局CK12SL列車が

姊妹列車となります

JR北海道は、冬期釧路にて運転をしておりますC11SL列車「冬の湿原号」と、夏期に台湾各地にてイベント運行されておりますCK12SL列車との間に「姊妹列車」提携を結ぶこととなりました。

台湾における北海道人気は引き続き根強く、また昨年の丹頂鶴の台湾への貸与は日台友好の大きな証となりましたが、丹頂鶴の生息する釧路を走るSL列車「冬の湿原号」と台湾を走る日本生まれのCK12SL列車が姊妹列車提携を結ぶことにより、今後より多くの日台の皆様が相互に交流するきっかけとなることを期待しております。

また姊妹列車提携に際して姊妹列車提携の締結式を釧路にておこないます。

「CK12型蒸気機関車」とは？

- ✓ 「C12型蒸気機関車」として1936年に日本国内で製造された機関車です。その後台湾に渡りました。
- ✓ 現在は台湾鐵路管理局（台湾国鉄）が所有し、主に夏期を中心にイベント運行しています。



CK12型蒸気機関車(台湾)



C11型蒸気機関車（日本）

1 姊妹列車締結の経緯

平成23年 2月 台湾鉄道雑誌が釧路支社を取材、その後雑誌に記事が掲載

平成23年10月 丹頂鶴贈呈式に釧路支社から訪問団に参加。その際に台湾鐵路管理局を表敬訪問し范(ハン)局長(国鉄総裁)と意見交換。姊妹列車の提案が双方よりなされた。

2 姊妹列車締結文書交換式

姊妹列車締結をおこなうにあたり下記にて文書交換式を実施いたします。(以下は検討中)

- (1) 日時 : 平成24年3月12日(月曜日)10時30分より
- (2) 場所 : 釧路駅3番ホームにて
- (3) 参加者 : 北海道旅客鉄道株式会社 取締役釧路支社長 矢崎 義明
台湾交通部台湾鐵路管理局 未定
- (4) 記念撮影 : 提携書調印後、SL冬の湿原号の前で調印記念撮影をおこないます。
- (5) 記念列車運転 : 姉妹列車提携を記念して特別ヘッドマークを付けた列車を釧路～標茶間に1往復運転し、日台の調印参加者のほか釧路地域の関係者の皆様にご試乗いただきます。

3 姉妹列車締結後の施策

姉妹列車提携の締結を契機に今後下記の施策を展開していく予定です。

- (1) 日本・台湾双方からお互いの列車乗車を体験するツアーの造成
 - 夏期：釧路から台湾へCK124列車乗車を含めた台湾体験ツアーの造成
 - 冬期：台湾から釧路へ「SL冬の湿原号」乗車や丹頂鶴見学を含めた道東ツアーの実施
- (2) 日台双方の観光列車を牽引する機関車に記念ヘッドマークを掲出し話題作りの実施
- (3) 提携記念グッズの販売を計画(詳細は未定)

【参考】

台湾鐵路管理局：台湾における国有鉄道で台湾交通部（日本の国土交通省に相当）が運営する鉄道。日本の「在来線」に相当する鉄道を運営し、台鉄（たいてつ）と略称されます。職員数13,473名、路線延長1,085km、年間の輸送人員1億7000万人(2009年度)。なお「台湾新幹線」は民間の「台湾高速鉄道」が運営しており経営は別形態となっています。

圖 JR 北海道旅客鉄道株式会社小池 明夫社長定例記者會新聞出稿(101.01.31 預擬)

- 9. 101年2月2日局長率餐旅服務總所朱總經理來順、貨運服務總所賴總經理秋金、政風室邱主任宏達、工務養護總隊張隊長欽亮及餐旅服務總所黃協理振照等一行6人，赴日本考察日本鐵路公司 JR 鐵路附屬事業及地方支線經營並洽談締結姐妹列車事宜。除拜會 JR 北海道旅客鉄道株式会社小池 明夫社長外，並實際搭乘體驗冬季濕原號觀光列車。



圖 101年2月2日局長率團拜會 JR 北海道洽談締結『蒸汽機車姊妹列車』事宜，並與小池社長合影。



圖 2012年2月9日『台湾のSLと姉妹提携-北海道新聞社』

釧路新聞 ON THE WEB SITE

2012年02月06日

台湾鐵路局長が来釧

SL 体験試乗も

台湾鐵路管理局の一行が3、4日釧路市などを訪れた。同管理局の范植谷局長をはじめ、運転や施設などの管理者6人と台北駐日経済文化代表処の徐瑞湖札幌分処長で、全国のJR各社の視察を行うのが目的。3日夜には、JR北海道釧路支社主催の歓迎懇親会が市内で行われ、交流を深めた。4日には、SL冬の湿原号に乗車し、車窓から釧路湿原を楽しんだ。台湾鐵路局でもSLが復活して人気を集めており、SL冬の湿原号と台湾のSLの連携も期待される。

11. 101年2月6日中國時報刊登「台日蒸汽火車 下月締結姊妹盟」報導，另多家媒體亦陸續刊載相關新聞。

台日蒸汽火車下月締結姊妹盟 Page 1 of 1

台日蒸汽火車 下月締結姊妹盟

2012年2月6日 上午5:30 中國時報【許俊偉／台北報導】

人在日本參訪的台鐵局長范植谷證實，已與日方取得共識，雙方將在三月十二日正式簽署意向書，台鐵首架蒸汽火車CK124將與JR北海道鐵路公司的C11型蒸汽火車締結姊妹車，不僅開創鐵道界先例，未來還要以聯合行銷模式，吸引台日民眾互訪鐵道旅遊。

本報去年底獨家報導，在臺灣鐵道國土規畫學會和日本鐵路臨海鐵道之友會的民間單位牽線下，有意促成台日蒸汽火車締結姊妹車，當時CK124和C11型「冬季濕原號」照片還登上本報頭版。

臺灣鐵道國土規畫學會發言人任俊毅說，原本只是雙方民間撮合，不能成行大家都沒把握，但JR北海道鐵路支社看到本報報導後，明顯感受台鐵誠意，主動力邀范植谷前往洽談締結事宜。

范植谷昨透過越洋電話表示，每年僅在冬季開行的JR北海道冬季濕原號，今年原本只開到二月底，但為慶祝與台灣CK124締結姊妹車，三月十二日將特別開行專列歡迎台灣貴賓和遊客；我方則有意在六月九日鐵路節舉行盛大活動。

范植谷說，不少台灣人冬季到北海道旅遊，都不忘追逐「冬季濕原號」，享受蒸汽火車奔馳在銀白世界的美景，很多日本人也經常來台追逐CK124復駛活動，未來透過聯合行銷，將可強化蒸汽火車的鐵道旅遊市場，提供雙方旅遊業者包裝套裝行程。

新竹縣長邱鏡淳也隨行赴日，除了借鏡北海道鐵道旅遊的成功經驗，也積極爭取CK124未來常態性行駛內灣線，新竹縣還爭取到交通部觀光局近三億元的國際觀光魅力景點補助，正努力將內灣線打造成「一條九驛」的「台灣漫畫夢工廠」。

據了解，苗栗縣舊山線也積極爭取蒸汽火車常態行駛，這次雖未跟上台鐵參訪行程，但三月十二日已確定前往釧路參加締結儀式。

圖 臺灣多家媒體刊載

『臺鐵CK124與日本北海道C11締結姊妹車』新聞

蒸汽火車合拚觀光台日跨國結盟 Page 1 of 1

蒸汽火車合拚觀光台日跨國結盟

自由時報 - 2012年2月6日 上午4:23 (記者曾鴻儒)

台灣、日本的友好關係可望藉鐵道觀光而更為密切！台鐵下月將與日本北海道結盟，分別在夏季、冬季讓蒸汽火車投入營運，一起發展蒸汽火車觀光。

台鐵近年積極修復蒸汽火車並復駛，台鐵局長范植谷上週率團訪問全世界對蒸汽火車最熱衷的日本，敲定結盟計畫，由於北海道冬季有和台灣CK124同型的蒸汽火車「濕原號」行駛，日方建議台灣在夏季行駛，冬天到日本也可看到同型車，兩國跨國一起發展鐵道觀光。

范植谷表示，日本的蒸汽火車復駛計畫與觀光徹底結合，值得學習；台鐵已連續兩年存暑假於舊山線復駛蒸汽火車，日方建議基本上可行，會再評估是否還有其他可行路線。

Taiwan forms landmark railway partnership with Japan - CNA ENGLISH NEWS Page 1 of 1

FOCUS TAIWAN NEWS CHANNEL

Taiwan forms landmark railway partnership with Japan

Taipei, Feb. 4 (CNA) Taiwan's CK124 steam train and Japan's 110-000 SL-110 steam train are set to become sister trains in March, marking the first time the Taiwan Railway Administration (TRA) has entered into such a partnership with a foreign railway company, the TRA announced on Wednesday.

A letter of intent will be signed with the Japan Hokkaido Railway Company on March 12, the TRA said, adding that the partnership will promote rail tourism between the two countries.

Taiwan's Society of Railway and National History, TRA's ally in Taiwan, will introduce a full set of Japanese railroads, have assisted with the details of the partnership, TRA added.

Related tourist activities will be organized in Taiwan and Japan annually to celebrate the partnership, TRA adds on.

(By Chen Chin-chen and C.J. Lin) [Click here for more](#)

台日、蒸気機関車“姉妹協定”に調印 2012/02/06 17:31:38



(台北 6日 中央社) 台湾鐵路の国宝級蒸気機関車 CK124 と JR 北海道の C11 型蒸気機関車が来月 12 日、“姉妹協定”で結ばれることになった。6 日付の中国時報が伝えた。鉄道業界では前例がないという。先週訪日した交通部台湾鐵路管理局の范植谷局長によると、北海道を訪れる台湾旅行客が白銀の釧路湿原を走り抜ける C11 型蒸気機関車「冬の湿原号」に惹き付けられる

ように、日本の鉄道ファンも台湾の日本製蒸気機関車 CK124 (日本の C12 型) を追いかけている実情を生かし、例えば冬は北海道で C11 型が、夏は台湾で CK124 型蒸気機関車を走らせて双方の観光収入に結びつけるといった“姉妹協定”に正式に調印することになったという。

范局長は「日本では蒸気機関車の復活運行と観光収入が密接に結びついている」と高く評価。台湾では舊山線でここ 2 年間、夏休み限定で CK124 型蒸気機関車の復活運行を行ってきたことを挙げ、他の路線でも運行できないか再検討すると話している。

また CK124 が昨年 11 月、ローカル線「内湾線」に登場し話題になった新竹県では、交通部観光局から国際観光魅力景点補助の目的で約 3 億台湾ドル(約 7 億 7700 万円)の補助金を得ており、范局長の北海道訪問に同行した邱鏡淳県知事は、CK124 の通常運行を行い観光収入に結びつけたいと意気込んでいる。調印式は来月 12 日に釧路で行われる予定で、当日は「冬の湿原号」を特別運行し、台湾からの調印団参加者や旅行客を釧路湿原に誘う。そして台湾では、6 月 9 日の「鉄道節(鉄道フェスティバル)」で例年行われる CK124 の復活運行イベントを盛大に催したいと話している。

圖 台日、蒸気機関車“姉妹協定”に調印-中央社日文新聞

12. 101 年 2 月 8 日本局發布『臺鐵路 CK124 與 日本北海道 C11 171 締結姊妹蒸気機車』新聞稿。同日、JR 北海道亦發布『JR 北海道 C11SL 列車冬季濕原號與台灣鐵路管理局 CK124SL 列車締結為姊妹列車』(JR 北海道 C11SL 列車「冬の湿原号」と台湾鐵路管理局 CK124SL 列車が姊妹列車となります)新聞稿。

圖 2008 年「SL 冬の湿原号」標茶・川湯温泉→釧路『乗車証明書』。



新聞稿

發文單位：交通部臺灣鐵路管理局

發文日期：101 年 2 月 8 日發

聯絡人：秘書室 科長 王傳馨 (02) 23815226 分機 2126

臺鐵局 CK124 與日本北海道 C11 171 締結姊妹蒸汽機車

臺鐵局為保存鐵路文化資產，戮力修復多部蒸汽機車恢復動態行駛，除獲得國內外的回響與肯定外，更積極投入推展及行銷鐵道觀光旅遊，計畫將所屬 CK124 蒸汽機車與日本 JR 北海道旅客鐵道株式會社所屬 C11 171 蒸汽機車締結為姐妹機車。以【冬遊日本湯煙熱，夏訪臺灣水氣涼】為主題，希望透過結盟方式，分別於每年 2~3 月及 6 月間在日本(北海道)與臺灣兩地辦理慶祝活動，帶動雙方在鐵道專業技術及鐵道旅遊事業上的交流與發展，並藉由行銷鐵道旅遊，吸引國外旅客來臺觀光，有助於拓展觀光產業。初步臺鐵局預計規劃推出『陸空異業』結合之鐵道套裝旅遊行程，以增進彼此友好與互惠關係，共創雙贏。

臺鐵局 CK124 蒸汽機車係民國 25 年(西元 1936 年)由日本車輛所製造，總重量 50.85 噸。民國 68 年 6 月報廢後，曾存放於已廢臺鐵淡水線的新北投車站，捷運開工後移往北投員工訓練中心展示。民國 89 年 9 月 14 日運回臺鐵局臺北機廠進行整修，民國 90 年 4 月 30 日竣工完成，6 月 9 日鐵路節成功復駛。因 CK124 蒸汽機車(與日本 C12 同型)在兩側裝有「導煙板」，外型正面卻與 C11 型蒸汽機車神似，在臺灣鐵道暨國土規劃學會、鐵道迷葉日崇先生、日籍友人伊藤一己及峰雪剛先生等熱心協助下，促成本次臺、日姐妹機車締結之良緣，也是臺灣鐵路的創舉。

日本 JR 北海道旅客鐵道株式會社所屬 C11 171 蒸汽機車係 1940 年由川崎車輛兵庫工場製造，總重量 66.05 噸。目前為 JR 北海道鐵路蒸汽機車牽引列車之主力機車，其中尤以「SL 冬の湿原号」列車最為知名。

臺鐵局將於3月12日前往日本，與JR北海道旅客鐵路公司簽署姐妹機車締結同意書；同時為配合此次結盟活動，日方特別規劃將另一輛C11 207號蒸汽機車與C11 171蒸汽機車進行重聯運轉，共同牽引「SL冬の湿原号」列車，且於3月12、13日加開列車，載著臺灣的貴賓遊覽道東聞名的一釧路濕原，在白雪皚皚中一窺釧路最有代表性的野生動物—丹頂鶴、蝦夷鹿等冬季濕地奇景，體驗與南國臺灣截然不同的北國風情，屆時歡迎國內旅客、鐵道及攝影愛好者，共襄盛舉。

〔姊妹機車(列車)簡介〕

C11SL 列車「冬の湿原号」

- C11 型蒸汽機車於1932年初製造。目前北海道鐵路公司有2輛此類型蒸汽機車運轉。
- C11 171及C11 207分別於1940年及1941年製造。
- SL 列車「冬の湿原号」於2000年冬季開行。
- 今年運轉期為1月21日至3月11日及3月17日至20日。



CK12SL 蒸汽機車(列車)

- CK124 蒸汽機車於1936年製造。
- 2000年底經臺鐵局臺北機廠整修，歷經7個多月於2001年6月9日鐵路節修復並復駛成功。目前為臺鐵唯一保存暨運轉的CK12型蒸汽機車。
- 不定期或配合節慶，行駛於臺鐵支線及沿線。



機車簡介：「C11 171」

「C11 171」蒸汽機車是 1940 年由川崎車輛兵庫工場製造。在日本 C11 型動態保存蒸汽機車中，目前有 2 臺(C11 171 及 C11 207)行駛於北海道釧路鐵道支線。其中所牽引的列車以「SL 冬の湿原号」列車最為知名。

「SL 冬の湿原号」於西元 2000 年開行運轉區間在北海道的釧路＝標茶，每年大約 12 月底運行至 3 月中(以每年公布為準)，途中經過道東非常知名的釧路濕原，這片濕地有 183 平方公里，約有兩千種動植物在此生長。其中最讓旅客期待的，就是丹頂鶴，這也是釧路最有代表性的野生動物。此外，搭車途中也很容易見到成群蝦夷鹿，讓旅客驚喜不已，沿途白雪皚皚美麗風光，更吸引許多鐵道及攝影愛好者遠赴北海道取景。



機車簡介：CK124」

「CK124」蒸汽機車是民國 25 年(西元 1936 年)由日本車輛所製造，總重量 50.85 噸。民國 89 年(西元 2000 年)9 月 14 日運回臺鐵局臺北機廠進行整修，民國 90 年(西元 2001 年)4 月 30 日竣工完成，並於 6 月 9 日鐵路節成功復駛。

「CK124」蒸汽機車曾牽引列車，行駛於國內集集、平溪、內灣等支線、南迴線及舊山線，並配合臺鐵局節慶活動開行列車。民國 100 年(西元 2011 年)年 7 月 9 日與「CK101」蒸汽機車重聯運轉於集集線。「CK124」蒸汽機車，深受國內、外鐵道迷及旅客喜愛，每行駛經過之處，均造成熱烈的回響，沿途汽笛鳴聲、裊裊飄煙的懷舊風情與鐵道英姿，都是大家緬懷搭乘、追逐蹤跡與攝影鏡頭下紛紛捕捉的美麗焦點。



JR北海道C11SL列車「冬の湿原号」と台湾鐵路管理局CK124SL列車が

姉妹列車提携を結びます

JR北海道が冬期釧路にて運転をしておりますC11SL列車「冬の湿原号」と、台湾各地にてイベント運行されております「CK124SL列車」は、この度姉妹列車提携を結ぶこととなりました。

現在、北海道と台湾の交流は盛んであり、特に昨年の震災後の台湾立法院長のご来道や道知事の台湾訪問と丹頂の貸与は日台友好の大きな証となりましたが、この丹頂の生息する釧路を走るSL列車「冬の湿原号」と台湾を走る日本生まれの「CK124SL列車」が姉妹列車の提携を結ぶことで、今後より多くの日台の皆様が相互に交流するきっかけとなることを期待しております。

なお姉妹列車提携に際し提携文書交換式を釧路にて行います。

1 提携の目的

双方のSL列車が持つ歴史を尊重し、北海道と台湾の人々がお互いの情報や意見を交換し、交流を深め、相互の観光に寄与し、一層の友好を高めて行くことを目的としています。

2 実施内容

(1) 姉妹列車提携文書交換式

- 日時 : 平成24年3月12日(月曜日)10時30分より
- 場所 : 釧路駅3番ホームにて
- 参加者 : 北海道旅客鉄道株式会社 取締役釧路支社長 矢崎 義明 他
台湾鐵路管理局 未定 (調整中)
- 提携記念列車: 文書交換式後、記念ヘッドマークを付けた列車を釧路～標茶間に1往復運転し、日台の調印参加者のほか釧路地域の関係者の皆様にご試乗いただきます。

(2) 日本・台湾双方からお互いの列車乗車を体験するツアーの実施

- 夏期: 釧路から台湾へCK124SL列車乗車を含めた台湾ツアーの実施
- 冬期: 台湾から釧路へC11SL列車「冬の湿原号」乗車や丹頂見学ツアーの実施

[姉妹列車について]



C11SL 列車「冬の湿原号」
 ・平成12年から冬期臨時列車として運転開始。
 ・今年度は1月21日から3月11日と3月17日から20日まで運転予定。
 ・C11型蒸気機関車は昭和7年に初製造。北海道で走る機関車は2両あり、それぞれ昭和15年と16年に製造。



CK124SL 列車
 ・イベントで運行されている。(運転日は不定期)
 ・CK124は昭和11年にC12型蒸気機関車として日本国内で製造。
 ・日本統治時代に台湾へ移転。
 ・戦後CK124と改称。
 ・台湾鐵路管理局が保有。

【参考】

台湾交通部：台湾における政府機関のひとつ。日本の国土交通省に相当。主な所管部局は鉄道管理局のほか観光局、中央気象局、郵便会社、民用航空局、高速道路局などがあります。

台湾鐵路管理局：台湾における国有鉄道で交通部が運営する鉄道。日本の「在来線」に相当する鉄道を運営し、台鉄（たいてつ）と略称されます。職員数13,473名、営業キロ1,085km、年間の輸送人員1億7000万人(2009年度)。なお「台湾新幹線」は民間の「台湾高速鉄道」が運営しており経営は別形態となっています。

提携に関する経緯：

平成23年 4月 震災後、北海道の訪問団が観光誘致を目的に台湾を訪問。

5月 台湾立法院長（国会議長に相当）王金平氏が来道し、台湾に向けて北海道の安全をPR。釧路訪問と丹頂を視察。

10月 中華民国建国100周年を機とした丹頂貸与に合わせ釧路から訪問団が訪台。弊社釧路支社も同行。台湾鐵路管理局を表敬訪問し姉妹列車提携について意見交換。以降調整を進めてきました。

平成24年 2月 鐵路管理局范（ハン）局長（国鉄総裁、社長に相当）が弊社を表敬訪問、あわせて釧路を訪問しSL冬の湿原号に試乗。

JR北海道における主な姉妹提携：

- | | |
|--------------------------|---------------|
| (1)稚内駅と指宿駅（鹿児島県） | ：国鉄、昭和42年 |
| (2)白石駅（北海道）と白石駅（宮城県） | ：国鉄、昭和45年 |
| (3)小樽駅と上野駅 | ：JR北海道、平成元年 |
| (4)デンマーク国鉄との姉妹鉄道提携 | ：JR北海道、平成2年 |
| (5)函館駅・青森駅・八戸駅カップルステーション | ：JR北海道、平成15年 |
| (6)白石駅(JR北海道)と白石駅(JR東日本) | ：JR北海道、平成15年 |
| (7)新千歳空港駅と成田空港駅 | ：JR 北海道、平成17年 |

圖 101年 2月 8日 JR 北海道發布『JR 北海道 C11SL 列車冬季濕原號與台灣鐵路管理局 CK124SL 列車締結爲姊妹列車』新聞稿

13. 101年2月13日專案小組召開第2次工作會議，會議結論略以：日方所擬「C11SL 列車「冬の湿原号」・CK124SL列車姊妹列車提携書」，中文版文件名稱請修正爲「C11SL列車「冬季濕原號」・CK124SL列車締結姊妹列車同意書」，並將「同意書」內文本局建議修正之處另標示註明後，回傳日方確認。日方所設計之活動頭牌（Headmark）初稿，原則尊重日方原設計，惟建議再增加雙方LOGO及全日本地形圖示，以求雙方主體之完整及對稱性。



圖 Headmark-日方版初



圖 Headmark-本局建議修正版

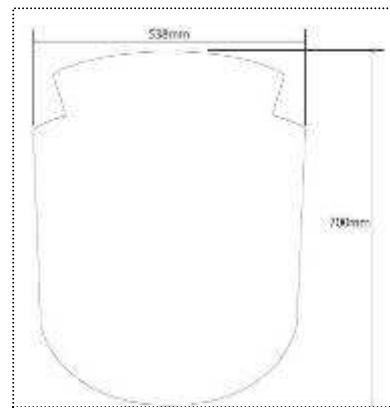


圖 Headmark-實體尺寸稿
SIZE H700mm * W538mm



姉妹列車提携書 締結文面案



【タイトル】

C11SL 列車「冬の湿原号」・CK124SL 列車姉妹列車提携書

【本文】

C11SL 列車「冬の湿原号」・CK124SL 列車を姉妹列車とする

この同意書の趣旨は、両 SL 列車が持つ双方の歴史を尊重し、この列車が走る北海道と台湾の土地に暮らす人々がお互いに情報や意見を交換し交流を深め、相互の観光に寄与することで双方の発展をはかり、一層の友好を高めていくことを目的とする。

この提携書は 2012 年 3 月 12 日釧路駅において署名交換し、日本語と中国語で各 2 部作成し、双方が所有する。

北海道旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 小池 明夫

交通部台湾鐵路管理局
局長 范 植谷

圖 日方草擬之「締結姊妹列車同意書」初稿



締結姊妹列車-**合約同意**書面案



CK124SL 列車・C11SL 列車「**冬季濕原號**」締結姊妹列車**同意書**

C11SL 列車「冬季濕原號」・CK124SL 列車締結姊妹列車合約書

【內文】

交通部臺灣鐵路管理局 CK124SL 列車與北海道旅客鐵道株式會社 C11SL 列車「**冬季濕原號**」締結姊妹列車，**為**尊重及**彰顯**雙方 SL 列車**持有**悠久的歷史，促進**日本**北海道和**台臺灣**人民之密切交流及**友誼**資訊交換，期許雙向觀光產業蓬勃發展，並以增進彼此**友好**情誼為目的，C11SL 列車「冬季濕原號」與 CK124SL 列車締結姊妹列車。

本**合約同意**書於 2012 年 3 月簽署於釧路車站，由雙方各持日文・中文版各兩份。

交通部**台臺灣**鐵路管理局

北海道旅客鐵道株式會社

局長 范 植谷

代表取締役社長 小池明夫

圖 本局建議修正之「締結姊妹列車同意書」初稿【原來文字(綠色字)與建議修正文字(藍色字)】

14. 案經本局專案小組工作會議並多次與日方溝通協調後，決議雙方於本(101)年3月12日假JR北海道釧路站舉行「CK124SL列車・C11SL列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」之公開典禮，同意書係採先由雙方首長簽署後，於儀式中交換完成。
15. 101年3月2日專案小組召開第3次工作會議，並邀請JR北海道釧路支社次長佐々木 大輔先生列席與會討論，說明3月12日典禮流程。該次會議結論略以：為慶祝本次締結活動，3月12日本局CK124於內灣線開行蒸汽懷舊觀光郵輪式列車，並以CK124與CK101重聯運轉方式，於同一時間點（北海道11:09，臺灣為10:09）鳴笛（一長音）以相呼應。
16. 101年3月2日JR北海道釧路支社次長佐々木 大輔先生蒞局，除參加本局專案小組工作會議外，並拜會本局局長，及將JR北海道小池社長已簽署之同書書陳遞請本局范局長簽署，再攜回日本。

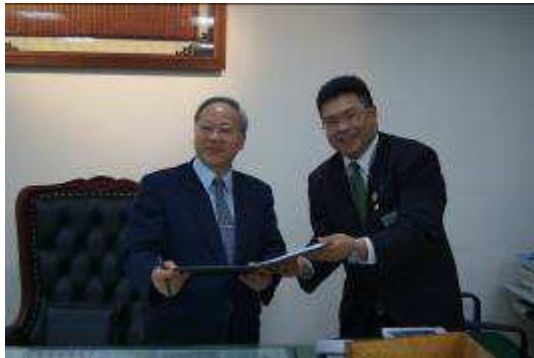


圖 101 年 3 月 2 日局長於辦公室簽署『CK124SL 列車・C11SL 列車「冬季濕原號」締結姊妹列車』同意書，並與 JR 北海道釧路支社次長（營業）佐々木 大輔先生、本局鹿副局長及日籍友人伊藤一己、峰雪 剛等合影



圖 101年3月2日JR北海道釧路支社次長（營業）佐々木 大輔先生參加本局「臺、日鐵路締結姊妹蒸汽機車」專案小組第3次工作會議，與會者左起為峰雪 剛先生、伊藤一己先生及葉日崇先生，會後並與專案小組合影合影。

17. 本局於101年3月5日發布『慶祝CK124跨海締結姊妹列車 CK124+CK101蒸汽機車聯袂帶您遊內灣』新聞稿。3月9日發布『C11・CK12締結姊妹列車紀念商品』新聞稿，為慶祝臺鐵局為慶祝CK124蒸汽機車與日本JR北海道C11「冬季濕原號」於2012年3月12日締結姊妹列車，推出限量紀念T恤、鑰匙圈和紀念帽，以供民眾購買蒐藏。

新聞稿

發文單位：交通部臺灣鐵路管理局

發文日期：101年3月5日發

聯絡人：運務處營業科 科長 彭坤炎

聯絡電話：0910-234828 (02) 23815226 分機 2214

慶祝 CK124 跨海締結姊妹列車 CK124+CK101 蒸汽機車聯袂帶您遊內灣

臺鐵局為慶祝 CK124 蒸汽機車與日本 JR 北海道 C11171SL「冬季濕原號」於 2012 年 3 月 12 日締結姊妹機車，當日將由 CK124 與 CK101 牽引 4 輛 DR2050 藍色小叮噹悠遊內灣線，帶領民眾體驗客家風情畫。3 月 12 日（星期一）上午 10 時 9 分，將在新竹站由 CK124 與 CK101 同時鳴笛啟航，與「冬季濕原號」同步開行「仲夏寶島號-內灣之旅」蒸汽懷舊觀光郵輪式列車，預訂於 101 年 3 月 5 日上午 9 時起開放網路訂票，訂票資訊如下：

1. 訂票車次：1888 次
2. 訂票代碼：起站：新竹（代碼 115）、訖站：內灣（代碼 248）
3. 訂票票價：750 元（單一票價）
4. 行程規劃：竹東站停留 60 分鐘，參觀竹簾文化館並參與館方特地為旅客安排的竹器 DIY 活動；旅客更可在九讚頭站拍攝鐵道文化中最具時代意義的「臂木式號誌機」；列車慢行經過合興站時，由郵輪式列車導覽人員帶領旅客動態欣賞獨具風格的紅磚紅瓦合興站老站房，內灣站停留約 2 小時，讓旅客自行探訪內灣老街、內灣戲院、劉興欽老師工作室等客家風情。（詳如附件）
5. 注意事項：本行程僅提供電腦網路訂票服務，不提供電話語音訂票，不開放網路付款系統、對號列車自動售票機、郵局與超商取票服務，訂票後請至車站窗口取票。

※訂票資訊及詳細行程，請參閱本局官網 <http://www.railway.gov.tw>

【郵輪式列車】專區說明。

圖 本局於 101 年 3 月 5 日發布「慶祝 CK124 跨海締結姊妹列車 CK124+CK101 蒸汽機車聯袂帶您遊內灣」

新聞稿

臺鐵局慶祝CK124SL、C11SL締結姊妹列車活動郵輪式列車行程計劃表

主題	仲夏寶島號內灣之旅			車 種	CK124+CK101+DR2050 (蒸汽懷舊列車)					
行程日期	101年3月12日 (星期一)			訂票日期	101年3月5日 上午9時起					
訂票資訊	車次代碼	1888		起站代碼	新竹:115	票價	單一票價 750 元 (含紀念票卡)			
				到站代碼	內灣:248					
行程	停靠站	到站時刻	開車時刻	停靠時間	景 點 特 色					
內容	新竹		10:09		啟航					
	竹中	10:27	10:30		乘客陸續登車					
	竹東	10:50	11:50	一小時	1. 台灣光復初期竹東因農林礦產資源豐富，成為竹木業、礦產等集散地，靠鐵路將物料運送至各地，竹東站當時為最主要的交通樞紐站，是內灣支線上城市與山林的分隔點。 2. 旅客抵達竹東站後由服務人員帶領旅客前往竹東站附近之竹籐文化館參觀，並由館方人員提供民眾參觀與體驗活動，希望透過活動讓民眾對竹與竹東有所認識。					
	合興	列車慢行欣賞獨具風格的紅磚紅瓦老站房								
	內灣	12:17	14:05	一小時48鐘	1. 內灣-於日據時代日本人發覺內灣的氣候與日本九州非常相似，便大量種植和家鄉同種類櫻花，而使內灣有一「櫻花部落」之美名稱。 2. 旅客抵達內灣站後，自由遊覽內灣老街各景點。 3. 建議民眾於內灣地區享用午餐。					
回程資訊	竹中	14:51	新竹	15:15						
洽詢電話	※02-89691108			請於上班時間來電，感謝您						
備註	※郵輪式列車票價僅包含當日指定車次去回車資，不包含車上餐飲與抵達各站後，前往附近景點之其他交通工具、餐飲等相關費用。 ※本案僅開放網路訂票，請參閱訂票網站郵輪式列車訂票說明，以節省購票流程時間。 ※郵輪式列車車票不開放網路付款系統、對號列車自動售票機、郵局與超商取票服務。 ※郵輪式列車一律發售指定區間乘車票，旅客可擇當次車指定上、下車站上、下車，餘程亦不退費。 ※前往車站周邊景點遊玩時，請注意自身安全，並請考量預留餘裕時間返回車站，以避免不及乘車。									

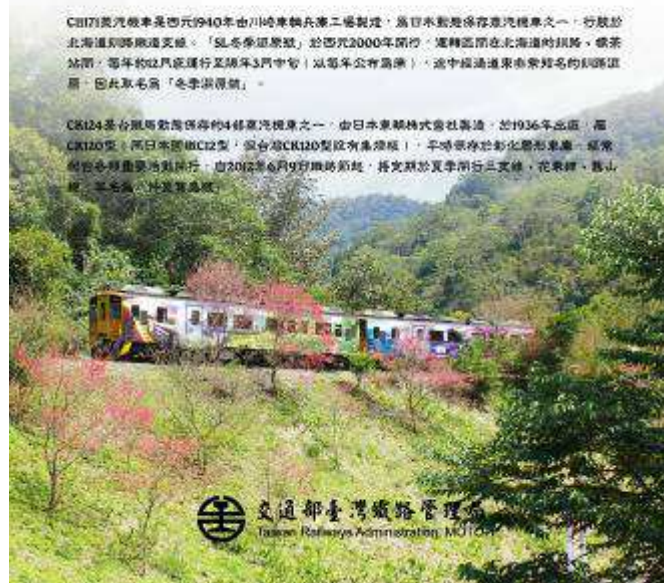
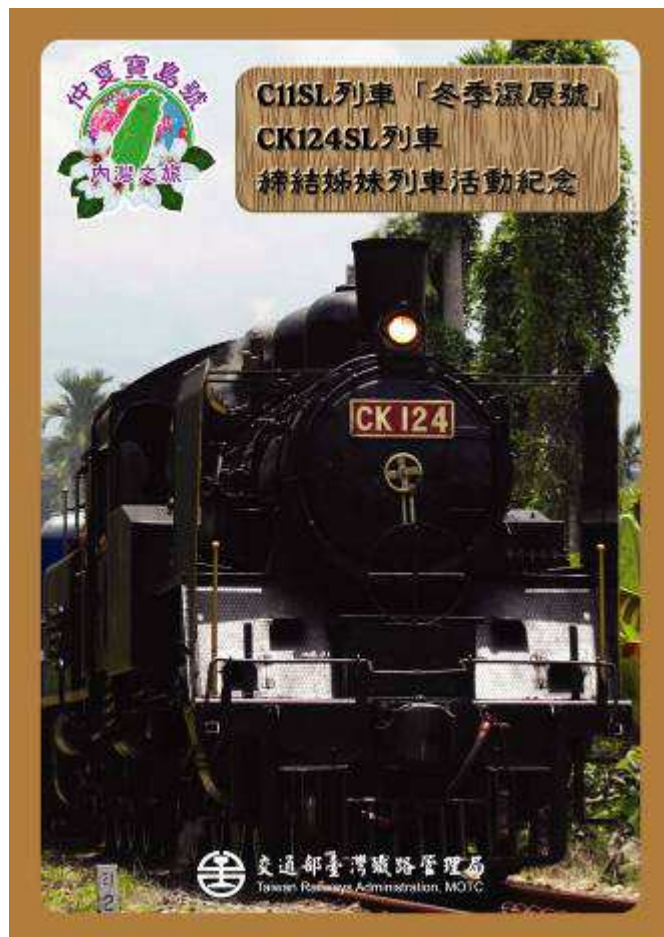


圖 臺鐵局慶祝 CK124SL · C11SL 締結姊妹列車活動郵輪式列車發行之紀念票卡。

新聞稿

發文單位：交通部臺灣鐵路管理局餐旅服務總所

發文日期：101年3月9日發

聯絡人：總所總經理 朱來順(02)2311-6520、0912-319178

供應課課長 彭德城(02)2311-6435、0912-968178

「C11・CK124 締結姐妹列車紀念商品」

臺鐵局為慶祝 CK124 蒸汽機車與日本 JR 北海道 C11「冬季濕原號」於 2012 年 3 月 12 日締結姊妹列車，推出限量紀念 T 恤、鑰匙圈和紀念帽，以供民眾購買蒐藏。



本局首次跨海締結姐妹列車之活動，對象係在日本已非常知名之「C11

型『冬季濕原號』，善用臺灣珍貴的鐵路資產—CK124 蒸汽機車，成功地做出一次漂亮的外交出擊，不但可以提升雙方鐵道之國際地位，更進一步爭取兩國之海外觀光客源，日後將每年舉辦活動，整合兩地資源進行「聯合行銷」，共創雙贏。

此次商品設計皆以白色為底，在日本文化裡白色象徵喜慶、吉祥，在我國也有純淨、聖潔之意涵，商品設計有兩國鐵道代表 LOGO，並以紅、藍雙圈並列的形象塑造雙方友誼之手環抱至無限的未來，其中加入 C124 和 C11 兩輛蒸汽機車之剪影，更加深民眾對鐵道文化的認識。

本次推出之商品皆為限量，計有：紀念 T 恤，尺寸有：M、L 和 XL3 款，每件 399 元整；締結姐妹列車紀念帽，每頂售價 220 元整；締結姐妹列車紀念鑰匙圈，每個售價 199 元整。相關銷售說明事項如下：

- 一、時間：自 101 年 3 月 12 日（星期一）上午 10 時起同時販售。
- 二、地點：臺北車站西南角鐵路商品販售門市、內灣站和活動當天 1888 次列車上。
- 三、數量：紀念 T 恤 300 件，紀念帽 600 頂，鑰匙圈 900 個。
- 四、諮詢電話：臺北鐵路餐廳（臺北站）02-23619309

臺中鐵路餐廳 04-22248817

七堵車勤服務部 02-24553984



締結姐妹列車紀念鑰匙圈（背面）

締結姐妹列車紀念鑰匙圈（正面）

締結姐妹列車紀念帽

締結姐妹列車紀念T恤

圖 本局於 101 年 3 月 9 日發布「C11·CK124 締結姐妹列車紀念商品」新聞稿

16. 101年3月10日本局派鹿副局長潔身代表本局，並率運務處林副處長竣曜、餐旅服務總所黃協理振照、彰化機務段楊段長德安及秘書室林專員維澤等一行5人，赴日本參加3月12日於釧路站舉行之「CK124SL列車·C11SL列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」暨同意書交換典禮。除締結典禮隆重盛情以外，國內熱愛鐵路人士20餘人，亦前往北海道現場揮旗歡欣慶賀，共襄盛舉。當日，本局亦於新竹內灣線開行CK124「仲夏寶島號」郵輪式列車，與日本「冬季濕原號」同步鳴笛以示慶祝。



圖 聯合晚報 101 年 3 月 12 日即刊登締結姊妹列車新聞

平成24年3月7日

3月12日に釧路駅で日本と台湾のSL姉妹列車提携文書交換式を開催し、 両国で同時刻にSLが重連で運転されます

過日(2月8日付けプレスリリース)お知らせした、JR北海道C11SL列車「冬の湿原号」と台湾鐵路管理局CK124SL列車の姉妹列車提携文書交換式の詳細概要が決定しましたのでお知らせします。

また、当日は「SL冬の湿原号」の発車時刻(11:09)に合わせ、台湾においても台北近郊の新竹駅において締結祝賀セレモニーと同時刻(1時間の時差のため10:09)発の臨時列車が運転され、祝賀ムードを盛り上げます。

さらに、当日は両国ともSLを重連で運転しますので、迫力ある雄姿がご覧頂けます。

1 姉妹列車提携文書交換式

- 日時 平成24年3月12日(月曜日)10時35分より
- 場所 釧路駅3番ホームにて
- 参加者 北海道旅客鉄道株式会社 取締役釧路支社長 矢崎 義明
台湾鐵路管理局 副局長 鹿 潔身 LU CHIEH SHEN 様
くしろ地域冬季観光開発協議会 副会長 徳永 哲雄 弟子屈町長 他
- 内容 10:35～ 参加者紹介、あいさつ
10:55～ 提携文書交換式
10:57～ ヘッドマークレプリカ授与 台湾SL模型受領
10:59～ ヘッドマーク取付(SL先頭でスパナで締結)
11:02～ タブレット授与式(駅長→台鉄鹿様→SL運転士)
11:09 SL出発(汽笛も台湾で同時刻に吹鳴します)
- その他 当日はC11 171とC11 207の重連で運転します。
姉妹SL締結を祝し特製ヘッドマークを付けて走行します。
台湾からの来賓や関係者のみ乗車頂き、一般の方は乗車頂けません。
セレモニー見学は釧路駅の入場券購入(160円)により一般の方も可能です。



2 台湾 新竹駅～内湾駅間SLCK124&CK101重連運転

- 区間 新竹～内湾、及び内湾～新竹(新竹駅は台北駅から特急で1時間強)
- 時刻 10:09 新竹駅SL出発(汽笛も台湾で同時刻に吹鳴します)
12:17 内湾駅到着
14:05 折り返し列車内湾駅発車
15:15 新竹駅到着
- その他 当日はCK124とCK101の重連で運転します。
新竹駅においてもセレモニーを開催すると伺っております。
営業列車として運転し、一般の方も切符購入により乗車可能です。

参考




CK101SL列車
・イベントで運行されている。
(運転日は不定期)
・CK101は大正6年に日本国内で400型として製造。
・戦後CK101と改称。
・台湾鐵路管理局が保有。
・台湾で最初の動態復活SL。
・重連の際は背中合わせて運転し、往復とも先頭になる。



CK124SL 列車
 ・イベントで運行されている。
 (運転日は不定期)
 ・CK124 は昭和 11 年に C12 型
 蒸気機関車として日本国内で
 製造。
 ・日本統治時代に台湾へ移転。
 ・戦後 CK124 と改称。
 ・台湾鉄路管理局が保有。

[HOME](#) >> [プレスリリース](#)

[ENGLISH\(Hokkaido Rail Pass\)](#) [SITEMAP](#) [HOME](#)

 **北海道旅客鉄道株式会社**
 HOKKAIDO RAILWAY COMPANY

[交通ネットワーク](#)

[旅](#)

[くらし](#)

[会社・グループ情報](#)

プレスリリース

Press Release



PDFファイルをご覧いただくには、Adobe Readerが必要です。
 詳しくは、[Adobe Reader ダウンロードページ](#)へ
 ※Adobe、Adobe Reader、AcrobatのロゴマークはAdobe Systems社の登録商標です。

最新のプレスリリース

[学園都市線電化開業に伴う電車の投入\(第一次\)について \(2012.3.14\)【PDF/36KB】](#)

[帯広←→札幌間にお得な商品を発売します \(2012.3.13\)【PDF/122KB】](#)

[「春のみなみ北海道キャンペーン」を実施します！ \(2012.3.13\)【PDF/303KB】](#)

[室蘭に運転！「SLみなと室蘭140周年号」 \(2012.3.12\)【PDF/559KB】](#)

[留萌線 箸別駅～増毛駅間における列車脱線事故について \(2012.3.6\)【PDF/48KB】](#)

[3月12日に釧路駅で日本と台湾のSL姉妹列車提携文書交換式を開催し、両国で同時刻にSLが重連で運転されます \(2012.3.7\)【PDF/830KB】](#)

[車両の検査期限を超えた車両の運行について \(2012.3.6\)【PDF/50KB】](#)

圖 JR 北海道旅客鐵道株式會社官方網站 101 年 3 月 7 日發布『3 月 12 日に釧路駅で日本と台湾の S L 姉妹列車提携文書交換式を開催し、両国で同時刻に S L が重連で運転されます』即刊登締結姊妹列車新聞

三、「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」暨同

意書交換典禮

1.典禮流程：

- 10:20 來賓集合。
- 10:35 C11SL 列車「冬季濕原號」專開列車進站，典禮開始。
- 10:36 介紹來賓
- 10:39 JR 北海道旅客鐵道株式會社致詞（釧路支社支社長 矢崎義明）
- 10:42 來賓致詞（交通部臺灣鐵路管理局 鹿副局長潔身）
- 10:45 地方代表致詞（SL 協議會副會長、北海道川上郡弟子町長 德永哲雄）
- 10:55 締結姊妹列車同意書（姊妹列車提携書）交換儀式。
- 10:57 紀念品互贈儀式（複製紀念頭牌 HEADMARK 及 CK124 銅鑄模型）
- 10:59 安裝頭牌 HEADMARK 儀式。
- 10:02 路牌授受儀式（釧路站站長→鹿副局長→C11SL 列車機車長）
- 11:04 儀式結束。
- 11:09 C11SL 列車鳴笛出發。

● 3 / 1 2 セレモニー案

10:20 來賓集合時間

10:35 SL 入線 セレモニー開始

10:36 來賓（着席者）紹介

10:39 JR 北海道あいさつ（JR 北海道支社長 矢崎義明）

10:42 來賓あいさつ（台灣鐵路管理局 鹿 潔身 主任秘書）

通訳：台灣→日本 黃 振照

10:45 地元歓迎あいさつ（SL 協議會副會長 德永哲雄 弟子屈町長）

10:55 提携文書交換式（各々が各々に保管すべきバインダー文書を交換）

10:57 ヘッドマークレプリカ授与（A4サイズのもの）台鉄側から土産あれば交換

10:59 ヘッドマーク取付（SL 先頭でホーム上から乗車しスパナでナットを両者で締結）

11:02 タブレット授与式（駅長→台鉄庶務→SL 運転士）

11:04 セレモニー終了

11:09 出発（400.1D 接続？）

※ 特に記載の無い部分は 通訳：日本→台湾 鄭 佳昇

SL について

・当日はSL 重連（先頭171）

・ヘッドマークはSL の先頭及びSL のテンダー（復路で見える）の2箇所

・ヘッドマークは緩急車には非装着

・往路SL 先頭には台湾鉄道及びJR 北海道の旗を付けて祝賀ムードの隠成で走行

來賓の配席

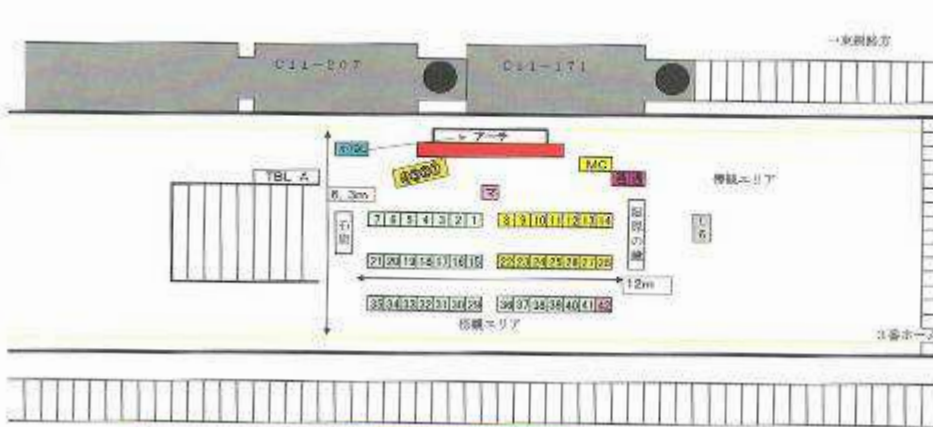
ステージ上椅子 台鉄鹿主任秘書、德永弟子屈町長、矢崎JR 北海道支社長

客席側椅子 台灣側 台鉄メンバー、趙先生夫妻、鄭様、新竹県2名、計画学会2名
（指定席） 日本側 釧路駅長、運輸車両所長、SL 協議會、釧路日台親善協會

客席側椅子 台灣側 台灣国土計画学会、新竹県ご一行、中華民國鐵路OB會
（自由席） 日本側 釧路臨港鐵道の會 他

全体図

- 車庫内側
- テーブル小1台
- イス45脚
- 番付1つ(台湾側)
- 住居(脚付)
- タブレット
- テーブル椅子×1



- 別添書(予定)
- 1 台湾鉄道管理局副局長/副 張勇
 - 2 台湾鉄道管理局副局長/副 張勇
 - 3 JR北海道副局長/副 佐々木 敦
 - 4 JR北海道副局長/副 佐々木 敦
 - 5 MC/司会
 - 6 基調者2名
 - 7 L6/列車停止位置目録
- 式典出席
- 10.30 - SL入館・開会宣言
 - 10.35 - 列強会紹介
 - 10.35 - 次機交代挨拶
 - 10.38 - 挨拶副局長挨拶
 - 10.48 - 終了副局長挨拶
 - (冬季湿原会関係者)
 - 10.51 - 姉妹文書交換式
 - 10.58 - 記念ヘッドマークの取付
 - 11.00 - タブレット授受(副局長1名第一機頭士)
 - 11.03 - 閉会宣言
 - 11.09 - 姉妹結核記念号出発

JR北海道C11SL列車「冬の湿原号」・台湾鉄道管理局[CK124SL列車] 姉妹列車提携文書交換式



- 来賓一覧
- 1 台湾鉄道管理局 張 俊安
 - 2 台湾鉄道管理局 林 勝壽
 - 3 台湾鉄道管理局 林 煥輝
 - 4 台湾鉄道管理局 張 益傑
 - 5 前立法院長 謝 水清
 - 6 前立法院長 蕭 萬石
 - 7 住友工業株式会社 副社長 藤 良雄
 - 8 新幹線会連合会 副会長 村上 慎吾
 - 9 藤沢可成港 企業副社長 次郎 祐幸
 - 10 新幹線会連合会 会長 佐藤啓夫
 - 11 新幹線会連合会 社長 野口孝 寛
 - 12 北海道新聞社 支社長 木村 博史
 - 13 創価大学 学長 小嶋 修一
 - 14 NHK国際放送局 局長 大塚 久幸
 - 15 住友工業株式会社 藤 謙雄
 - 16 国土企業学会 江 金山
 - 17 国土企業学会 藤 旭雄
 - 18 国土企業学会 佐 恒雄
 - 19-21 国土企業学会
 - 22 新幹線会連合会 副会長 小畑井 修一
 - 23 新幹線会連合会 副会長 丸山 徳雄
 - 24 新幹線会連合会 事務局長 本下 正明
 - 25 新幹線会連合会 事務局長 工藤 宗次
 - 26 新幹線会連合会 事務局長 岩内 貴夫
 - 27 新幹線会連合会 事務局長 近藤 洋子
 - 28 新幹線会連合会 代表 藤 寛

圖 101 年 3 月 12 日 JR 北海道釧路站 S L 締結姊妹列車暨同意書交換儀式流程及座位表



圖 101 年 3 月 12 日 JR 北海道釧路站 S L 締結姊妹列車暨同意書交換儀式會場及互贈之紀念品 (複製紀念頭牌 HEADMARK 及 CK124 銅鑄模型)



圖「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」紀念專車由 C11 171 與 C11 207 兩部蒸汽機車重聯運轉。



圖 C11 207 與 C11 171 兩部蒸汽機車



圖「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」暨同意書交換典禮於釧路站第 3 號月台舉行(平成 24 年 3 月 12 日(日曜日)10 時 30 分)



圖 為慶祝「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」，臺、日與會來賓戴著本局特製「締結姐妹列車紀念帽」，揮舞著「臺鐵路」及慶祝「締結姊妹列車」手拿旗，一同歡呼慶賀。





圖 貴賓席左起依序爲：釧路站站長佐々木 敦先生、釧路支社支社長矢崎義明先生、北海道川上郡弟子屈町長（SL 協議会副会長）德永哲雄先生、臺鐵局副局長鹿潔身先生。

典禮當天釧路站長所穿的製服是日本明治時代國鐵製服（西元 1800 年代後半～1900 年代前半），現在則是逢 S L 特別開行典禮的時候穿著與會。



圖 鹿副局長代表本局參加釧路站舉行之「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」同意書交換典禮。



圖 釧路支社支社長矢崎義明先生代表 JR 北海道旅客鐵道株式會社參加釧路站舉行之「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」同意書交換典禮。



圖 「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」同意書交換典禮上，釧路支社支社長矢崎義明先生代表 JR 北海道旅客鐵道株式會社致詞。現場中文翻譯者為 JR 北海道旅客鐵道株式會社鐵道事業本部營業部鄭佳昇小姐（著黑色外套者）。



圖 釧路支社支社長矢崎義明先生代表 JR 北海道旅客鐵道株式會社致詞。

【JR北海道旅客鐵道株式會社釧路支社支社長致詞稿】

24・3・12 SL姉妹締結記念式典

釧路支社長挨拶

JR北海道釧路支社の矢崎でございます。

私どもJR北海道が運行する「SL冬の湿原号」と台湾鐵路管理局CK124SL列車との姉妹締結に際しまして、JR北海道を代表し、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、台湾鐵路管理局の鹿副局長をはじめ、台湾からお越しの皆さま、「ようこそ釧路へ」、心から歓迎申し上げます。

台湾の皆様からは、昨年、東日本大震災に際し、多くの見舞金をわが国にお寄せいただき、私どもの運行する「SL冬の湿原号」車内にも、台湾国民へのお礼の文章を掲示させていただいております。改めて感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年10月台湾鐵路管理局へ表敬訪問させていただきました際、台湾で運行されているSLのCK124が牽引する観光列車と、私どもの「SL冬の湿原号」を姉妹列車として相互の連携を深めましょうということになりました。

そして、それから約半年で姉妹列車提携の文書交換式に臨むことができ、この間の台湾鐵路管理局の方々の姉妹列車提携にかける強い思いに感銘を覚えているところです。

「SL冬の湿原号」は、平成12年から運行を開始し、例年台湾からのお客様も約2千人のご利用があり、多くの方に愛される列車となっておりますことを非常に嬉しく思います。

このたびの姉妹列車提携を機に、双方から両列車への送客をし、両列車が盛況で力強く走り続けることを願ひまして、私のご挨拶といたします。ありがとうございました。

首先非常感謝今天特地遠道從臺灣來的鹿副局長，以及各位臺鐵的貴賓，其他所有臺灣的朋友，非常衷心歡迎各位蒞臨釧路。

爲了今天姊妹列車的締結，非常感謝大家特地遠道重來爲了今天的盛會，也非常感謝釧路的各町長以及各個所謂的政治團體，還有一些民間團體，大家特別抽空來參加這個盛會。

我想大家都知道，去年在三月十一日 311 東日本大地震時候，日本收到非常多的臺灣朋友熱情的支援以及所謂的撫慰金的贊助，真是非常由衷的感謝臺灣所有的人民。

在去年 10 月的時候，我也親自到臺灣參與了北海道贈與台灣丹頂鶴的儀式；當時，在那個時候就產生了這個議題，希望行駛在釧路的 SL 跟台灣的 SL 能締結爲姊妹列車，促進臺灣和北海道更好的情誼。

這次的冬季濕原號，是西元 2000 年開始運行的；現在的乘車總人數已超過了 20 萬人次，當中臺灣的朋友大概超過了二千位有乘車，爲了紀念今天這個盛大的慶典，同時在臺灣的新竹車站舉辦 SL 的一個重聯運轉的一個儀式，這個最特別的是，同樣在 11:09 分配合 SL 冬季濕原號行駛，臺灣的蒸汽火車也是會鳴笛並且行駛。

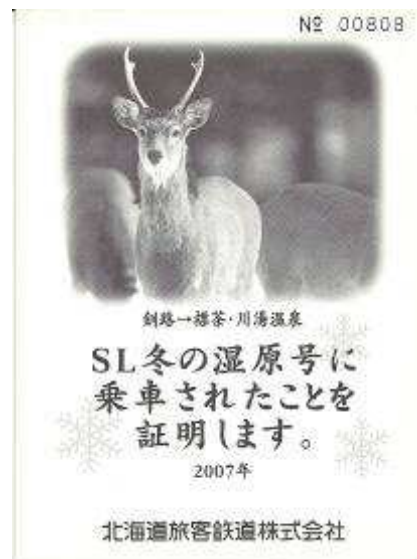
釧路跟臺灣更是有非常深的緣份，除了贈與丹頂鶴之外呢，還有跟臺北市立動物園締結一個友好的關係；我想這之後臺灣與釧路之間的友好關係會愈來愈加深。

希望今後臺灣與釧路所有的人民能有更好的交流，我們的友誼可以更好，在今後會有更平凡更活絡的一些交誼、交流的訊息，來促進我們的情誼，今天非常感謝大家在寒冷之中來參加今天的盛會，謝謝大家！

圖 JR 北海道釧路支社 支社長矢崎義明先生致詞，現場中文翻譯記錄。



圖 JR 北海道每年會製作不同圖樣的『乘車証明書』贈送搭乘「SL 冬季濕原號」旅客留念。



左圖分別爲 2006 年「川湯溫泉・標茶→釧路」及 2007 年「釧路→標茶・川湯溫泉」SL 冬季濕原號『乘車証明書』。



圖 101.03.12 鹿副局長代表
 本局參加於釧路站舉行
 之「CK124SL 列車・
 C11SL 列車『冬季濕原
 號』締結姊妹列車」同意
 書交換典禮並致詞。現場
 由本局黃協理振照作日
 語翻譯。

【臺灣鐵路管理局鹿副局長致詞稿-中文版】

CK124SL 列車・C11SL 列車「冬季濕原號」締結姊妹列車典禮

副局長致詞稿

2012.03.12

矢崎支社長以及所有與會來賓，大家好！

今天很榮幸代表臺灣鐵路管理局來到 貴國國際知名觀光勝地-北海道，並在鐵道釧路站一同舉行本局 CK124SL 列車與北海道旅客鐵道株式會社 C11SL 列車「冬季濕原號」締結姊妹列車之慶祝典禮。

臺灣鐵路的發展與日本鐵道有著很深的歷史淵源，今天的主角之一 CK124 蒸汽機車，係西元 1936 年由 貴國引進於臺灣鐵道上運行，目前在臺灣配合節慶或地方活動行駛於臺灣鐵道上，非常受到國內、外旅客的喜愛與歡迎。今天也要同時於本局新竹內灣支線開行，並以鳴笛呼應及交接路牌方式，向現場的主角之一 C11SL 列車「冬季濕原號」表達貴我兩國蒸汽列車「姊妹之情」。

我們期盼今後藉由鐵道結盟的方式，共同行銷鐵道觀光旅遊，並帶動雙方在鐵道專業技術上的交流與發展，增進彼此友好互惠關係，共創雙贏。

最後，感謝促成良緣的臺、日許多鐵道的愛護人士，並祝雙方鐵道事業興

隆!也歡迎各位 6 月 9 日到臺灣參

加臺鐵 125 週年慶，體驗臺灣的

美!敬祝各位貴賓永保安康！

中華民國 101 年 3 月 12 日



【臺灣鐵路管理局鹿副局長致詞稿-日文版】

CK124SL 列車・C11SL 列車「SL 冬の湿原号」姉妹列車締結

セレモニー挨拶

矢崎支社長及び本日ご列席の皆様、こんにちは。

本日、国際的に有名な観光地・北海道へ台湾鐵路管理局の代表として訪れることができ、釧路駅で台湾鐵路の CK124SL 列車と北海道旅客鐵道株式会社の C11SL 列車「SL 冬の湿原号」姉妹列車締結記念セレモニーを取り行うことができたことは、非常に光栄です。

台湾鐵路の発展と日本の鐵道には歴史的に深いかかわりがあります。今日の主役の一方である CK124SL ですが、これは 1936 年に日本から台湾に渡り、運行されてきました。今は台湾での祝日や各地のイベントに合わせて運行され、国内外のお客様に愛されています。今日も台湾鐵路の新竹内湾線で同時に運行されますが、同時に汽笛を鳴らし、同時にタブレットを交換して、今回主役のもう一方である C11SL 列車「SL 冬の湿原号」に対して「姉妹の情」をあらわしています。

今後、私達はこのような列車同士の提携を結ぶことで、鐵道觀光旅行のセールスを共同で行い、鐵道専門技術の交流により発展をもたらし、お互いの友好関係をさらに深めて、相乗効果を生み出したいと思います。最後に、このようなきっかけを作っていただいた台湾と日本の多くの鐵道愛好家の皆さんにお礼申し上げます。そして、双方の鐵道事業がますます発展するよう祈念申し上げます。6月9日には台湾で台湾鐵道125周年イベントが行われます。皆さんどうぞおいでいただき、台湾の美しさを体験してください。本日ご列席の皆さまのご健勝をご祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

平成 24 年 3 月 12 日



圖 釧路地方代表：北海道川上郡弟子屈町長（SL協議会副会長）德永哲雄先生致歡迎詞。

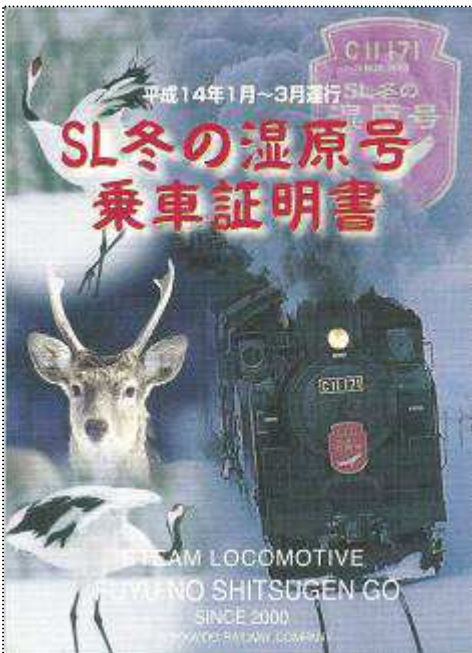


圖 平成14年(西元2002年)「SL冬季濕原號」乗車証明書。



圖 臺鐵局鹿副局長與釧路支社矢崎支社長分別代表臺灣鐵路管理局及 JR 北海道旅客鐵道株式會社交換「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」同意書。



CK124SL列車・C11SL列車「冬季濕原號」 締結姊妹列車同意書

交通部臺灣鐵路管理局CK124SL列車與北海道旅客鐵道株式會社C11SL列車「冬季濕原號」締結姊妹列車，旨在尊重及彰顯雙方SL列車悠久的歷史，促進日本北海道和臺灣人民之密切交流及資訊交換，期許雙向觀光產業蓬勃發展，並以增進彼此友好情誼為目的。

本同意書於2012年3月簽署於釧路車站，由雙方各持日文、中文版各兩份。

交通部臺灣鐵路管理局

北海道旅客鐵道株式會社

局長

范植谷

代表取締役社長

小池明夫

圖 「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」同意書-中文版。



C11SL列車「冬の湿原号」・CK124SL列車 姉妹列車提携書

C11SL列車「冬の湿原号」・CK124SL列車を姉妹列車とする
この同意書の趣旨は、両SL列車が持つ双方の歴史を尊重し、
この列車が走る北海道と台湾の土地に暮らす人々がお互いに
情報や意見を交換し交流を深め、相互の観光に寄与することで
双方の発展をはかり、一層の友好を高めていくことを目的とする。

この提携書は2012年3月12日釧路駅において署名交換し、日本語と中国語で
各2部作成し、双方が所有する。

北海道旅客鉄道株式会社

交通部台湾鐵路管理局

代表取締役社長

局長

小池明夫

范植谷

圖「C11SL 列車『冬の湿原号』・CK124SL 列車姉妹列車」提携書-日文版



圖 JR 北海道旅客鐵道株式會社贈送本局「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」
「複製紀念頭牌 HEADMARK」。本局回贈『CK124 銅鑄模型』作為「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬
季濕原號』締結姊妹列車」紀念。



圖 臺鐵局鹿副局長與釧路支社矢崎支社長共同懸掛 C11SL 列車「冬季濕原號」上姊妹列車紀念頭牌(HEADMARK)。



山水資源豊かな台湾に釧路のタンチョウが友好と親愛を込め飛来するイメージ。また、オレンジの丸は世界三大夕日に称えられる釧路の夕日を表し、台湾と釧路の親和関係をいつまでもあたたかく照らす光のシンボルとしてデザインに取り入れた。

圖 JR 北海道 C11SL 列車「冬季濕原號」姊妹列車紀念頭牌(HEADMARK)圖稿



圖 路牌授受儀式：「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」紀念專車出發前，由釧路站佐々木站長將路牌遞交給本局鹿副局長，再由鹿副局長將路牌遞交給 C11171 蒸汽機車機關助士的谷津田忠先生。

釧路駅3番ホームで交換式 「冬の湿原号」と台湾のSL、姉妹列車提携(1)²



台湾鐵路管理局の鹿潔身副局長から運転士にタブレットが渡され、いよいよ出発進行=3月12日、北海道釧路市のJR釧路駅(藤井克郎撮影)【拡大】

冬の釧路に友好の汽笛が鳴り響いた。JR北海道のC11SL列車「冬の湿原号」と台湾鐵路管理局のCK124SL列車が姉妹列車の提携を結び、12日、北海道釧路市のJR釧路駅3番ホームで提携文書の交換式が行われた。交換式には台湾鐵路管理局の鹿潔身副局長ら台湾側関係者も多数出席。鹿副局長は「このような列車同士の姉妹提携を結ぶことで、双方の観光の発展をもたらすことを望みます」と期待を寄せた。

姉妹列車提携は、昨年、東日本大震災後、台湾からの日本への支援や釧路のタンチョウを台湾に貸与することなどで交流を重ねたことから実現。台湾でイベント列車として運行されているCK124は昭和11年に日本国内で製造された列車で、日本統治時代に台湾に渡ったという経緯があり、今回の姉妹列車提携に結びついた。

釧路での提携文書交換式に合わせ、台湾の新竹駅でも同時刻に出発式を開催。双方とも重連で同じ時刻に汽笛を鳴らし、発車した。

交換式に出席したJR北海道釧路支社の矢崎義明支社長は「平成12年から運行しているSL冬の湿原号は、台湾からも2000人以上の方に乗っていただいている。これからも台湾と釧路市民がますます仲良くなってもらえたらと願っています」と話していた。

釧路駅3番ホームで交換式 「冬の湿原号」と台湾のSL、姉妹列車提携(2)



この日の「冬の湿原号」は、姉妹列車提携を記念して、C11171とC11207の重連で釧路駅を出発した=3月12日、北海道釧路市(藤井克郎撮影)

四、搭乘「『冬季濕原號』締結紀念專開列車」

1. 3月12日「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」紀念專車（姊妹締結紀念号）係由 C11 171 及 C11 207 兩部蒸汽機車重聯牽引運轉。

■重連運轉



※車両編成は予定です。編成は臨時に変更される場合がございます。

圖 摘錄自 JR 北海道旅客鐵道株式會社官方網站



上圖 C11 171 蒸汽機車前、後端

下圖 C11 171 蒸汽機車內部、前者為機關士佐藤克人先生、後為機關助手谷津田忠先生及鈴木康展先生



左上圖 C11 207 蒸汽機車機關士 木村泰徳先生與機關助手佐藤祐介先生。

右下圖 C11207 蒸汽機車(調車聯掛中)。 右圖 C11 207 蒸汽機車俯瞰圖。(回程：標茶站→釧路站)



緩急車瞭望臺

上圖 為緩急車(かんきゅうしゃ)編號4305(左 釧路站始發,右 標茶站折返)。

下圖 左為緩急車內部,兩側為觀景窗,車外有瞭望台。

右為緩急車編號4647(標茶站折返時)。緩急車可做為導覽人員導覽遊客透過觀景窗或瞭望台,觀賞釧路濕原及濕原上動物生態之場所⁵²



圖「SL 冬季濕原號」外觀採復古式塗裝，車廂標示牌（以釧路濕原保育動物~丹頂鶴為標誌）。



圖在雪地上奔馳的「SL 冬季濕原號」列車，及從窗外看見釧路濕原上悠哉漫步的丹頂鶴。

2. 紀念專車時刻表

●運轉區間 / 釧路 ~ 標茶間

釧路 開	釧路濕原 開	塘路 開	茅沼 開	標茶 着
11:09	11:36	11:54	12:06	12:24

標茶 開	茅沼 開	塘路 開	釧路濕原 開	釧路 着
13:52	14:12	14:28	14:43	15:10

(3月12日當天各站均準點到開)

3. 3月12日「CK124SL列車・C11SL列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」紀念專車（姊妹締結記念号）工作人員計有：

（一）SL 機關士

a.機關士 (SL 1 部 1 員)：C11 171 佐藤克人、C11 207 木村泰徳。

b.機關助士 (SL 1 部 2 員)：C11 171 爲谷津田忠、鈴木康展；
C11 207 佐藤祐介、佐藤学。

（二）車長(本次 SL 專車有 3 位車長，平常 SL 列車有 2 位車長)：

a.本務車長：須田有二。

b.輔助車長：清田周平、早坂正治。(協助本務車掌工作)

以上工作人員均隸屬於「釧路運輸車輛所」

（三）服務人員 2 員：原田香苗、佐藤朱美（隸屬於「道東 travel service」）



圖 3月12日「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」紀念專車（姊妹締結記念号）機班同仁。



圖 3月12日「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」紀念專車（姊妹締結記念号）本務車長~須田有二先生。



圖 左爲本務車長~須田有二先生。
右爲輔助車長~清田周平先生。



圖 右爲輔助車長~早坂正治先生。



圖「SL 冬季濕原號」客車廂內座位採4人對座，中間設有桌子，方便旅客用餐。車內並有暖氣空調，旅客乘坐相當舒適，不必擔心外面冰天雪地。



圖「SL 冬季濕原號」客車廂內一端設有火爐，除讓怕冷的旅客可以就近取暖，車上另販售魷魚及小魚乾，提供旅客在車上烤魚的樂趣。

圖「SL 冬季濕原號」緩急車廂內火爐。





圖上 C11SL 列車「冬季濕原號」第 2 號車內設販賣部，販售各類「冬季濕原號」紀念商品。
 圖左 左側為服務員原田香苗小姐，右側為佐藤朱美小姐，均隸屬於「道東 travel service」。
 圖左下 為販賣部對面處(即右下圖車掌站立出) 牆上掛有「冬季濕原號」海報及標示當天日期，並備有
 車掌制服及特製相片框等，提供旅客拍照留念。



圖 C11SL 列車「冬季濕原號」第 2 號車內設販賣部，販售各類「冬季濕原號」紀念商品。



圖 「C11・SL 列車『冬の湿原号』CK124SL 列車姉妹【提携記念】」「The orange card of sister train commemoration」 JR 北海道訂於 3 月 20 日起正式對一般民眾販售之紀念票卡。



圖 「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」紀念專車抵達終點站後，由 C11207 蒸汽機車機関助手佐藤学先生，將路牌遞交給本局鹿副局長，再由鹿副局長將路牌遞交還釧路站佐々木站長。



圖 本局鹿副局長於「冬季濕原號」上接受作家片倉佳史先生訪問。



圖 平成 24 年 3 月 12 日北海道新聞(晚報)刊登「CK124SL 列車・C11SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」。照片中為臺鐵局鹿副局長與釧路支社矢崎支社、釧路站佐々木站長及趙永清夫婦合影。



圖『CK124SL 列車・C11SL 列車「冬季濕原號」締結姊妹列車』同意書交換典禮舉辦地點~JR 北海道釧路站。
紅線框處則為 JR 北海道釧路支社辦公室所在地。



C11-171号機の略歴

昭和15年	川崎車輛製造 当番は名古屋区に配属
昭和20年	朱物内釜沼所所属
昭和29年	長万部機関区所属
昭和48年	最終全般検査(苗穂工場)
昭和50年	釧路機関区所属 廃車
昭和50年	11月に標茶町に無償貸与 桜児常公園で静置保存
平成11年	SLすずらん号として 深川～蘭所間で運行
平成12年	SL冬の湿原号として運行開始



SL冬の湿原号について

- ◆ 概 要

「SL冬の湿原号」は、JR北海道釧路支社管内で唯一運行されている冬の臨時列車で、国鉄本線の釧路～標茶(1月21日)と湿原線(1月22日)の2区間の各駅停車によって運行されており、冬季には両区間の2両編成1両を連結して運行しています。運行開始から「湿原を力走せよ」として、多くのファンが応援しています。平成12年1月21日にJR北海道管内で初めて運行されたのが、この列車です。直営駅は苗穂と標茶です。
- ◆ 釧路本線と車窓からの景観

この列車は釧路駅発着の列車で、釧路駅～苗穂間の約10kmの区間を走行します。道産米の産地である苗穂は、この列車の発着に合わせて、苗穂駅に「道産米」の看板が掲げられています。また、この列車は釧路駅発着の列車で、苗穂駅～標茶間の約10kmの区間を走行します。苗穂駅～標茶間の区間は、苗穂駅～標茶間の約10kmの区間を走行します。苗穂駅～標茶間の区間は、苗穂駅～標茶間の約10kmの区間を走行します。
- ◆ 車内設備について

この列車の車内設備は、国鉄時代のものを再現しています。車内では、冬季の湿原の風景について車中から案内されています。また、車中では、冬季の湿原の風景について車中から案内されています。また、車中では、冬季の湿原の風景について車中から案内されています。



圖 毎年「冬季濕原號」開行是 JR 北海道重要業務之一，釧路車站候車室內，設置「冬季濕原號」開行文宣資料看板，強力促銷「冬季濕原號」。



圖 旅客驗票進閘口後，即可看到『冬季濕原號』乘車月台指標。



圖 在候車室內，以 DVD 播放介紹『冬季濕原號』，並擺放釧路濕原珍貴動物~丹頂鶴標本。



圖 JR 北海道將蒸汽機車用來止滑的噴砂作成學生祈福包，放置於售票櫃檯上供旅客索取，頗獲好評。



肆、心得與建議

3月12日上午，距離典禮開始前的一個半小時，在零下低溫的JR北海道釧路車輛所場區內，一眼望去盡是一片白雪皚皚，但就在不遠處，一個龐然大物冒著濃濃的煙緩緩駛近，它就是今天的主角之一~C11 207 蒸汽機車，而車庫裡，則是蓄勢待發的另一位主角~ C11 171 蒸汽機車，他們即將聯掛後連袂開往今天典禮的會場~釧路站第3番月台。本來只能透過圖片、影片跨國隔海欣賞的冬季濕原號蒸汽列車，而現在他們正雄糾糾氣昂昂的矗立於眼前，而映入眼簾的，更是那再熟悉不過的車前頭牌(Headmark)圖騰和臺鐵路旗，那種撼動人心的莫名感，更令我們激動的熱血沸騰，原本凍僵的手指霎時也靈活地狂按相機快門，不願遺漏他們的一舉一動，只希望能鉅細靡遺完整記錄下這歷史一刻。



圖 在 JR 釧路車輛所蓄勢待發的『冬季濕原號』

臺鐵 CK124 蒸汽機車與 JR 北海道 C11SL 列車「冬季濕原號」締結為姊妹列車，此一跨國鐵道締盟是臺鐵百年來的第一次，從去(100)年底本局成立專案小組後，即緊鑼密鼓進行規劃與籌備工作，然而臺、日兩國國情不同，雙方政府、企業組織運作亦不相同，跨國隔海之遙，雙方人員彼此意見溝通、觀念交流，更增添其困難度，然而，3 個月的時間，在臺、日雙方共同努力下，完成了這個不可能的任務，探究其原因，就是本案一開始就定位為以行銷為導向，相互推展蒸汽火車鐵道觀光旅遊業務為目的之結盟活動。雖互為締結姊妹列車，惟仍保持雙方鐵道事業自主運作的完整性，卻可透過海外結盟相互行銷業務而互蒙其利。

『JR』(日本鐵路公司)已是世界聞名的鐵道「品牌」，而 JR 北海道「冬季濕原號」列車從西元 2000 年開始運行至今，乘車總人數即已超過了 20 萬人，顯見其對鐵道事業經營之努力，是有目共睹，成績斐然。

臺鐵去(100)年經營實績創下營運以來最多旅次，而收入更超越高鐵通車前 5 年之水準，在建國百年交出了一張漂亮的成績單，顯見已掌握發展契機，展現強盛的競爭力。今(101)年是「臺鐵再造」元年，臺鐵乘勝追擊，亟思強化國際「鐵道品牌」行銷，開發海外旅客來臺從事鐵道旅遊，以期能創造名、利雙贏。此次

鐵路外交成功出擊，更有利於創意行銷臺鐵，將臺鐵的品牌形象推向國際舞台。

他山之石可以攻錯，這次全程參加 JR 北海道於釧路站舉行之「CK124SL 列車・C111SL 列車『冬季濕原號』締結姊妹列車」同意書交換典禮，並實際搭乘體驗「冬季濕原號」列車，有諸多可以借鏡之處：

1. JR 北海道「冬季濕原號」列車自西元 2000 年起，每年 1~3 月固定開行，已是觀光客期盼在白雪皚皚的冬季裡搭乘蒸汽列車的首選，頗具國際知名度。而本局尚未有定期開行之蒸汽觀光列車，相對的，國外旅客要想搭到 CK124 蒸汽列車就得碰運氣了。建議本局應儘速完成定期蒸汽觀光列車開行計畫，俾能招徠國際觀光旅客。



圖左 車站揭示之「冬季濕原號」開行之海報看板。



圖右 中、日、韓三語之宣傳DM。

2. 建議本局可參考日本各鐵路觀光列車座位設計，作為改造本局觀光列車車廂之參考；以「冬季濕原號」為例，其座椅係採四人對座，中間固定式餐桌，方便家庭或呼朋引伴出遊的旅客於車上聚會用餐；另「冬季濕原號」將緩急車（かんきゅうしゃ，守車）內部改裝為導覽人員導覽遊客透過觀景窗或瞭望台觀賞風景生態場所之概念，亦可一併研議，以增加鐵道旅遊之趣味。



圖 在「冬季濕原號」上，家庭成員一起出遊在車上用餐時，支社長與旅客話家常。



圖 在本局「郵輪式列車」上，工作人員與旅客互動情事。



圖 JR 北海道「冬季濕原號」宣傳 DM 與「冬季濕原號」列車緩急車車廂實景對照。

3. 為增加搭乘觀光列車與一般列車的不同氛圍，JR 北海道「冬季濕原號」的車長及服務員都另外有特定的制服。甚至連釧路站站長於首航典禮或特殊日期(如此次締結姊妹列車日)都會穿上大禮服(日本明治時代國鐵制服); 建議本局觀光列車的工作人員能穿著特別設計的制服(亦可選用早期的制服)，讓觀光列車旅客感受不一樣的乘車感覺，而工作人員亦能以有別於值乘一般列車之工作心情，取而代之是以導覽旅客遊覽的心情，帶著旅客遊山玩水。



圖 上為 JR 北海道一般列車車長及車上服務員制服。(3月11日特急スーパーおおぞら5号 OZORA 超級大空號車長須田有二先生，亦是3月12日「冬季濕原號」本務車長)

下為 JR 北海道「冬季濕原號」列車車長(須田有二先生及清田周平先生)及車上服務員(原田香苗小姐)服裝。



圖 JR 北海道釧路站站長佐々木 敦先生穿日本明治時代國鐵制服出席姊妹列車締結典禮。

圖 JR 北海道 站長制服。右為釧路站站長佐々木 敦先生。
左為 JR 新千歲空港站 站長山田昭一先生。

4. 加強列車工作人員從事旅遊導覽的教育訓練工作，畢竟觀光列車工作人員除了要執行一般列車既有的乘務工作外，對一般旅遊導覽的相關知識亦應俱備。俾能提供搭乘的旅客能有個快樂的旅程。
5. 日本鐵路路網繁密，火車是人們移動時最便利的交通工具，日本各家鐵道公司均有販售各種 PASS，方便旅客搭車時，節省購票時間和享受票價優會，部分 PASS(如 JR-PASS)更僅限定在國外販售(出國前在本地國付款，到日本後持兌換券換發 PASS)，提供外籍旅客使用，不論是國內、外之票證，如果能有國際行銷管道，必可吸引更多旅客購買使用。本局亦已販售有 TR-PASS 提供在國內之旅客使用，現更與高鐵聯手推出「兩鐵 PASS 券」透過海外旅行社銷售。或許，可利用此次姊妹列車締盟之機會，臺、日雙方相互行銷彼此的海內、外的 PASS，透過增加行銷管道，而創造更多銷售機會。



圖『Hokkaido Rail Pass』(北海道鐵路券) 中文版說明摺頁。



圖上 臺鐵 TR-PASS 票冊封套及內頁「TR PASS 使用須知」。

圖上 臺鐵\高鐵 『雙鐵周遊券兌換憑證』及使用規則(限海外販售)。

6. 撒砂裝置是鐵路車輛的一種設備，其安裝目的是利用砂粒撒在軌道面上，以增加車輪與路軌的磨擦力，縮短制軔距離和增加爬坡時的磨擦力。而 JR 北海道將此砂粒裝成小袋裝，外面貼有『合格祈願 SL 砂』標籤，提供學生(受験生)作為祈求考運之幸運物。另每年都製作不同圖樣之『乘車證明書』贈送搭乘特定列車(如「冬季濕原號」)旅客紀念品。這也是提供本局做為行銷特定觀光列車時的一種方式。

圖 JR 北海道釧路支社製作的『合格祈願 SL 砂 JR きっと合格』(一定合格)祈福砂袋，贈送參加考試學生。

按：在日本，學生參加高中或大學入學考試，考試成績不合格亦稱之為“掉下來”或“滑倒”等(即為落榜同意)。因蒸汽機車撒砂是為防止車輪打滑，有止滑之意，故延伸至考試即意謂考試「止滑」，不會不合格之意。而日本的新學期是在 4 月開始，大學或高中的入學考試則在 1 月至 3 月舉辦，因此，此次赴日時間正好遇見 JR 北海道釧路支社贈送考生加油的合格祈願砂袋。



圖 摘錄自 JR 北海道釧路支社支社長写真と旅のつれづれ手帖網站 <http://www.jrkushiro.jp/blog.html>



圖 平成 23 年(西元 2011 年)9 月 2 日~4 日計 3 天，開行「SL とかち号(十勝號)」。
運轉區間：帯広←→池田。

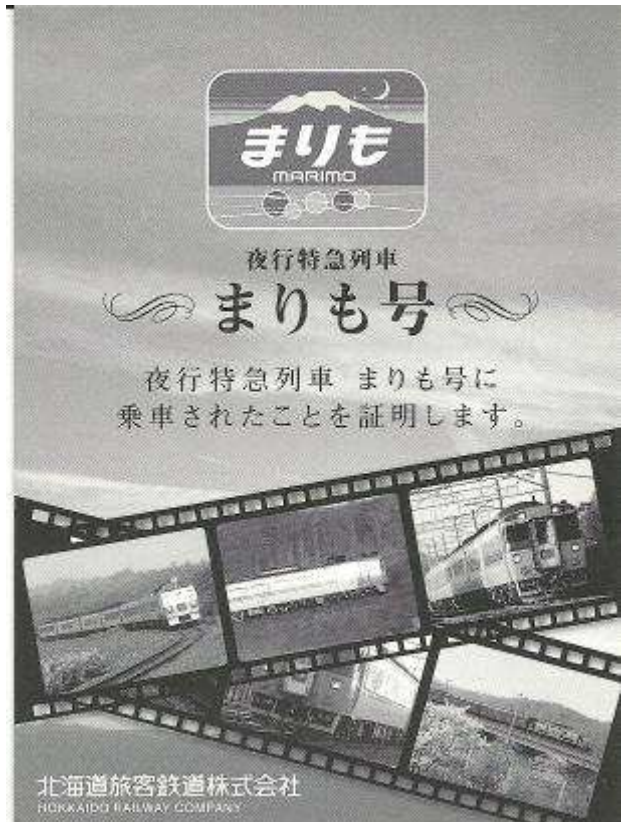
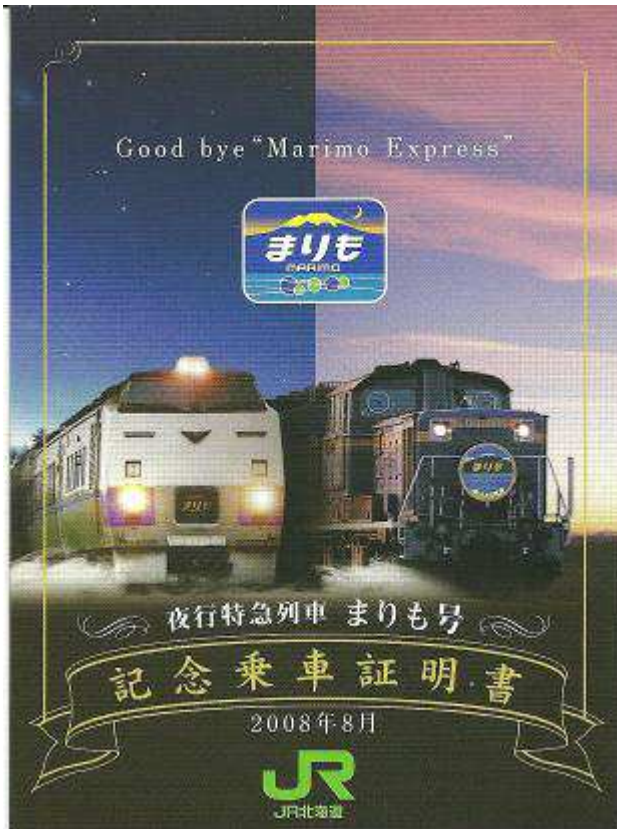


圖 2001 年 7 月 1 日開始運行夜行特急列車まりも号(毬藻號)(札幌→釧路)，於 2008 年 8 月 31 日停駛。
按 阿寒湖是位於日本北海道釧路市的淡水湖泊，為旅遊勝地，以盛產毬藻和鱒魚聞名，此夜行特急列車即以「毬藻」為列車名。



圖 平成 15 年(西元 2003 年)「SL 冬季濕原號」乘車証明書。(在釧路濕原上奔馳的「SL 冬季濕原號」)



圖 西元 2009 年(平成 21 年)「SL 冬季濕原號」乘車証明書
(道東釧路濕原上代表性的野生動物：蝦夷鹿及丹頂鶴)。

7.此次在北海道釧路停留期間，發現不論是住宿飯店大廳，或是釧路站內候車室，都擺放 1 臺錄放影機，不定時播放著即將上映的電影-『我們的存在』(僕等がいた)，旁邊亦放置宣傳 DM 提供免費所取。原來，這是由日本暢銷漫畫改拍成真人版電影，影片分別在北海道的釧路、札幌及東京等地取景拍攝，其中一張劇照拍攝地點，就是此次姊妹列車締結典禮的所在地-釧路站第 2 月台。為吸引各地影迷前來釧路朝聖，「釧路總合振興局」特別製作導覽地圖，將釧路各拍攝景點一一標示並作簡要說明，而 JR 北海道釧路支社官網(<http://www.jrkushiro.jp/location.html>)更將歷來電影取景拍攝的車站彙集，除作場景介紹說明外，亦提供鐵路票價及乘車時間等資料，方便影迷前往。顯見，從地方政府至鐵道業者，無不積極把握電影媒體的魅力作觀光行銷，增裕收入。(按 北海道劃分由 14 個「振興局」管理，而「釧路總合振興局」管轄 8 個市町村(釧路市・釧路町・厚岸町・浜中町・標茶町・弟子屈町・鶴居村・白糠町)。)



圖 電影-『我們的存在』(僕等がいた)宣傳 DM；該女主角站立之月台(第 2 番號)即此次姊妹列車締結典禮(第 3 番號)的所在地-釧路站第 2 月台(A、B 側)。



JR釧路支社は運賃制先の旭市・釧路市に所在し、石巻線(市内一上折合)、根室本線(旭市一折合)、釧路本線(旭市一折合)の自給自足ある広大な土地が北海道を代表しています。この自然豊かなロケーションのため、テレビや映画などのロケ地としても多く親しまれている場所でもあります。そんなロケ地の一部をご紹介します。



440円
 ・釧路からの所要時間の目安
 片道約30分



根室線 JR白糠駅 (有人駅)
 (わむろせん/JRしらぬかえき)
 所在地: 白糠郡白糠町東1条南1丁目300番地1
 営業時間: 6:40~18:40
 TEL 01547-2-2070
 映画の中では「白濁 しらぼろ」駅として登場。
 康平(生田斗真さん)と紗枝(新垣結衣さん)が出会うシーンの舞台。
 ※紗枝の家の舞台となった民家

・釧路～白糠間 大人片道
 530円
 ・釧路からの所要時間の目安
 片道約40分

白糠駅には駅周辺のロケ地マップもあるので、思う存分散策しよう！周辺に飲食店もあります。白糠町は康平の演に關わる大部分のシーンが撮影された場所です。駅から道庁まで徒歩でも行けますよ。

白糠駅構内には、駅名物・タコ焼き屋さん(ハッピー)もあるよ。



根室線 JR尺別駅 (無人駅)
 (わむろせん/JRしゃくべつえき)
 所在地: 釧路市音別町字尺別43番地1
 康平(生田斗真さん)の家があるマチの駅「開別 ききべつ」駅として登場。二人が列車から降りて歩くシーンを撮影。紗枝(新垣結衣さん)の実家の舞台となった民家もあります。尺別駅から徒歩3分。
 ※紗枝の実家の舞台となった民家

・釧路～尺別間 大人片道
 900円
 ・釧路からの所要時間の目安
 片道約60分

2,160円 で遊ぶ **ロケ地@JR**

釧路 10:17	普通列車 900円	11:22	尺別 11:57	普通列車 530円	12:28	西庶路 13:04	普通列車 200円
		滞在時間: 35分		滞在時間: 36分			
				13:11	白糠 15:11	16:01	釧路
				滞在時間: 2時間		530円	

白糠で時間をとって、康平も新垣結衣もはにかみ！白糠町駅と観光マップを参考に。

圖 JR 北海道釧路支社官網介紹電影「花水木ハナミズキ」在轄內拍攝取景之車站(2010年8月21日上映，由新垣結衣與生田斗真主演，全片取景橫跨北海道釧路、東京、紐約、加拿大等地。)

伍、附件



圖 JR 北海道新千歲空港站站長山田昭一先生與 JR 北海道旅客鐵道株式會社鐵道事業本部營業部鄭佳昇小姐於新千歲空港港站歡迎本局鹿副局長一行到訪。



圖 JR 北海道新千歲空港站內旅運設施及車站通廊簡潔明亮。



圖右上 搭乘 JR 北海道快速 Airport 153 號(エアポート 153 號)由新千歲空港→札幌。椅背上方票插。



圖右下 JR 北海道快速 Airport 153 號(エアポート 153 號)由新千歲空港→札幌。椅背設有手機充電座，方便旅客手機充電使用。



圖左上 與 JR 北海道快速 Airport 153 號(エアポート 153 號)札幌車輛所 奧山車長合影。



圖 JR 北海道新千歲空港站月台以簡單文字地貼作候車位置標示，但整體月台面仍保持乾淨美觀。



圖 JR 北海道快速空港號 Airport 153 號(エアポート 153 號，JR 新千歲機場站→JR 札幌站)，車廂通道門上及車廂門上標示。



圖 JR 北海道快速空港號 Airport 153 號(エアポート 153 號)，車長室、多目的洗手間(Multi-Purpose Rest Room)及車廂內供旅客大型行李放置區。



圖 JR 北海道札幌站內便當販售亭，店面不大，但販售便當樣式頗多。



圖 本局代表團於 JR 札幌站搭乘前往釧路站時，JR 北海道鐵道事業本部營業部副課長伊藤副課長美孝先生，揮舞著「臺鐵局」及慶祝「締結姊妹列車」手拿旗，引起月台上候車旅客之注意，間接達到宣傳目的。



圖(上) JR 北海道特急超級大空號(札幌→釧路)スーパーおおぞら(OZORA)5號車廂外 LED 顯示器，顯示效果清處，位置高度適中，方便旅客閱讀辨識。



圖(左) JR 北海道特急超級大空號(札幌→釧路)スーパーおおぞら(OZORA)5號車廂內『多目的室』，滿足旅客不同之需求。



圖(中) 車門防夾警告標示，以逗趣卡通圖案表示。



圖 JR 北海道特急超級大空號(札幌→釧路)スーパーおおぞら 5 號 OZORA 車長室及車長工作情形。



圖 JR 北海道特急超級大空號(札幌→釧路)スーパーおおぞら 5 號 OZORA 車長所配發之補票機及 LED 信號燈 (號誌手電筒)。釧路運輸車輛所車長須田有二先生示範操作補票機及 LED 信號燈。



圖 JR 北海道特急超級大空號(札幌→釧路)スーパーおおぞら (OZORA) 5 號車長所配發裝備。



圖 左為 JR 北海道特急超級大空號(札幌→釧路)スーパーおおぞら(OZORA)5号行李架，行李架採板式設置，旅客放置行李容易，中間為透明壓克力板，旅客拿取行李後，可透過該處檢視有無遺漏之行李。

圖 右為臺鐵 PP 自強號行李架，行李架採柵欄式設置，行李架上有無遺留之行李一目瞭然，但小件行李易因車廂振動而掉落砸傷旅客。



圖右 為 JR 北海道特急超級大空號(札幌→釧路)スーパーおおぞら(OZORA)5号車廂內 LED，以圖示方式顯示即將停靠之車站名，淺顯易懂。(上圖摘錄自 <http://www.jrhokkaido.co.jp/train/>)



圖 (左)為 JR 北海道超級特急大空號(札幌→釧路)スーパーおおぞら(OZORA)5號車廂內緊急照明手電筒。



圖 (右)為 JR 北海道特製便當，配菜顏色豐富，並附有菜單簡介。便當封面則繪製 JR 北海道路線圖及各區間行駛之列車圖。





*圖(左上)

釧路是日本知名的水產城市，而鮭魚(シヤケ)是其最大魚獲之一。當地鮭魚孵化場送給釧路站 700 粒魚卵養殖於候車室內的水族箱中，供民眾觀賞鮭魚生態，並計劃於 5 月 5 日舉行放流儀式。JR 北海道釧路站特地於 2012 年 2 月 16 日發行「駅鮭新聞」歡迎這批小客人。同時發布「電影-『我們的存在』(僕等がいた)」及「SL 冬季濕原號」文宣。

*圖(右中)

位於日本北海道釧路市的「阿寒湖」是頗富知名度的旅遊勝地，其為一淡水湖泊，除有溫泉外，主要以盛產絨藻和鱒魚聞名。2001 年 7 月 1 日 JR 北海道開行之夜行特急列車まりも号(絨藻號)(札幌→釧路)即以「絨藻」為列車名。



圖(上) 釧路站地下通道一端擺設有釧路地區風景照及釧路濕原上被列為天然紀念物-丹頂鶴及其它動物標本(蝦夷鹿及紅狐)。

[>>SL冬の湿原号運転案内](#)
[>>SL冬の湿原号ニュース](#)



[運転案内](#)
[車両編成](#)
[SLについて](#)
[SLニュース](#)
[沿線案内](#)
[車内販売](#)

2012年3月20日(火)

本年の運転、無事終了です。3月17日～20日の4日間は釧路本線80周年記念の特製ヘッドマークをつけて運転しました。今年には台湾のCK124との姉妹列車締結が行われたという記念すべき年でもあり、今後さまざまな華が大きく大きく膨らんでいくことを祈念して、今年のニュースは終了です。ご乗車にありがとうございました。また、このニュースを読んでいただき、ありがとうございました。釧路線では4月23日より「しろ湿原ノロコ号」が運転を始めます。SL冬の湿原号はまた来年元気な姿で皆様にお会いできるよう、少しの間お休みです。皆様までお元気でまたお会いしましょう。ありがとうございました！



2012年3月12日(月)

本日はJR北海道C11SL列車「冬の湿原号」と台湾鐵路管理局CK124SL列車が姉妹列車提携を結ぶ「姉妹提携文書交換式」を釧路駅3番ホームにて開催し、無事提携文書交換をいたしました。SL冬の湿原号は姉妹列車締結を祝い、特製のヘッドマークをつけて走行。11:09の出発と同時に台湾でも臨時列車が新竹駅から内海駅間運転されました。今後も、ますますの友好協力関係が深れますよう、願っております。



2012年2月13日(月)

SL冬の湿原号沿線では車窓からエゾシカやタンチョウなどの野生動物が多くみられます。特に、茅沼駅は「タンチョウの来る駅」として全国にその名が知られています。茅沼駅では、昭和39年の水害によって餌場を失ったタンチョウに代々の駅長が餌付けをして成功したのがきっかけで、以降、毎年タンチョウが飛来するようになったようです。乗車中、茅沼駅でタンチョウが見られる確率は現在、93%(弊社調べ)！優美なタンチョウの姿をぜひご覧ください。



2012年2月10日(金)

今日はJR釧路運輸車両所オリジナルオレンジカード「SL冬の湿原号」2012をご紹介します。2枚1組合計(18cm×10.5cm)で1組2,000円。全国のJRでご利用いただけます。SL冬の湿原号車内で販売しており、車内でお求めいただくと、釧路運輸車両所車掌特製のオリジナルポストカードをプレゼントしています。「おかげさまで大変ご好評いただいております。ポストカードは郵送申請では手に入らないので、ぜひご乗車ください(車掌・須田)」。皆様のご乗車業務員一同心よりお待ちしております。



2012年2月8日(水)

JR北海道C11SL列車「冬の湿原号」と台湾鐵路管理局CK124SL列車が姉妹列車提携を結びます！詳しくはこちらをご覧ください。
[プレス\(PDF\)>>>](#)



2012年2月4日(土)

本日は、台湾鐵路管理局の范植谷局長はじめ台湾鐵路局の皆様がご乗車されました。車内では人気沸騰中のSLブリンを召し上がったたり、車窓からの湿原の風景やエゾシカ、タンチョウの姿をご覧になったりなど、ご乗車を楽しく、でいらっしやる様子でした。



圖 JR 北海道旅客鐵道株式會社釧路支社官網均揭露出相關活動訊息。

<http://www.jrkushiro.jp/sl2012/news.html>

新聞稿

發文單位：交通部臺灣鐵路管理局餐旅服務總所

發文日期：100年5月3日發

聯絡人：總經理 朱來順(02)23116520

供應課專員 鍾年豐、課員 曹淑君(02)2311-6435

來自日本的感謝

此次日本大地震，臺灣給予了日本許多支援。因此，正值此刻出版新書的日本鐵道迷伊藤一己先生，特別把即將問市的《東亞細亞非自動地帶》鐵道寫真集贈送給臺灣鐵路管理局，5月3日將於臺灣鐵路局舉行贈書儀式。

本寫真集係以臺灣為中心，並介紹了韓國、日本非自動區間的風景。書中亦有介紹的日本八戶線（岩手縣），被此次大地震帶來之海嘯造成嚴重的損壞，至今尚無法確立能夠修復至何種程度。伊藤先生得知當大地震後，臺灣給予日本大量的支援，便自發性地決定以行動展現來自日本的感激之意，即贈送臺鐵剛出版的寫真集。伊藤先生表示：「日本東北地方居民對於來自臺灣各界之眾多支援，深表感謝之意。」



▲上側照片為2011年3月大地震後的陸中八木車站。圖中可見遭受海嘯衝擊之後的嚴重破壞情形。至今八戶線仍無法確定能否復原。



▲上側照片為地震前的陸中八木車站。為了能早日恢復車站的美麗原貌，本寫真集的售書款項將部份捐作日本大地震賑災之用。

本寫真集中製作非自動系統部分之解說與繪圖，以及製作DVD的機械技師、鐵道愛好者—峰雪剛先生因正在宮城縣石卷市從事震災現場復原工作，不克前來參與本日之儀式，深感遺憾與敬佩。

本寫真集係依標題所稱之「非自動」裝置，介紹了使用百年的鐵路行車保安系統，其中以結合機械式的號誌機（臂木號誌機）等裝置與完美的人工操作為主要內容。

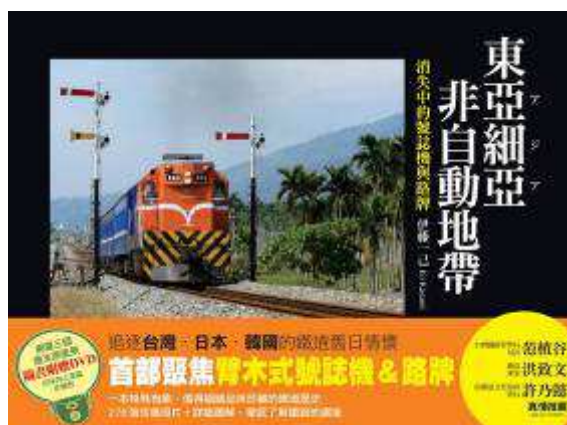
臺鐵在 2000 年代中葉已將大部分路線由人工（非自動）保安系統更換成更先進的自動化行車保安裝置。臺鐵可藉由該寫真集，紀錄鐵道之演進。伊藤先生表示：「本寫真集內容介紹了非自動方式如何保障著鐵道安全運行的初衷。其中可見到許多臺鐵前輩們堅守安全崗位的身影，可時時勉勵員工，不忘提升鐵道安全運行之意識，應頗有助益」。

伊藤一己先生於 1983 年參加國際青年商會世界大會時首訪臺灣，深為濃厚的人情味以及特有的鐵道風情所吸引。因此，每年均會訪問臺灣。

伊藤一己先生曾任 1988 年度秋田縣大曲青年商會會長，當中與中和國際青年商會（新北市）締結姊妹會，對於促進日本與臺灣之間民間交流貢獻良多。即使目前已經卸任，仍然和臺灣政商各界人士保持著多方面的密切往來。

20 多年來，伊藤先生也曾善用來臺參與青商會交流活動的期間，紀錄並保存了臺灣的煤礦、森林、製鹽、製糖鐵道等各種產業鐵道的珍貴影像。幾年前甚至還購買了荒廢在日本的臺糖 650 號珍貴蒸氣機車，無償回贈嘉義縣政府，一時傳為佳話。

除臺鐵之贈書之外，本寫真集亦將於誠品、紀伊國屋、法雅客、何嘉仁等書店，以及透過博客來、臺灣鐵道網等販售。售書所得款項部分將捐為日本大地震賑災之用。



東亞細亞非自動地帶—消失中的號誌機與路牌

►名家推薦

臺灣鐵路管理局 局長 范植谷
鐵道專家 洪致文
鐵道文化協會第三屆會長許乃懿
真情推薦

►書籍基本資料

作者／伊藤一己
非自動解說／峰雪剛、蘇奕肇
規格／全彩·菊 8 開·176 頁·隨書
附贈 DVD(132 分)
定價／1000 元
出版者／東佑文化事業有限公司

►書籍簡介

- 重現令人懷念的舊時鐵道風貌。
- 全台首部聚焦臂木式號誌機&路牌的寫真集
- 276 幀美麗照片+詳細圖解，徹底了解鐵路的演進。
- 涵蓋台灣·日本·韓國三國的非自動鐵道舊日情懷
- 一本特殊有趣，值得細細品味珍藏的鐵道歷史。
- 隨書附贈 DVD，網羅三國鐵支路風景，回味內心深處的鄉愁。

請大家一起支援日本地震後的重建工作！

謝謝臺灣，一起加油 日本東北！



▲生動地描繪出臂木式號誌機與操作非自動系統站員之間美妙的互動。(花東線/臺灣)



/韓國)

▲守著道車全臂式誌。發令懷的氣。聞線護鐵行安的非自動區間風景。散著人念 氛 (慶



▲岩手線陸中八木車站。係依瀕臨海邊的美麗車站。(八戶線/日本)



▲介紹臺灣・韓國・日本等3國的非自動區間風景。(平溪線/臺灣)

圖 來自日本的感謝-「謝謝臺灣，日本東北會加油」-「東亞細亞非自動地帶」伊藤一己先生贈書記者會

註：本報告內部分圖片摘錄自 JR 北海道旅客鐵道株式會社釧路支社所提供活動紀錄影片。